大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊 九月二十九日
本紙一部五錢 定價一ケ月壹圓 郵稅一ケ月拾五錢 廣告(普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢)料金
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話(編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三二〇〇)
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

陸海、空軍相協力して 爆擊、砲擊相次いで占領

[上海廿九日發國通] 北四川路西側の敵陣地に對し海軍航空隊は廿九日未明より猛烈なる爆擊を加へたゝめ、各所に火災起り北停車場と商務印書館を連ねる寶山路一帶は濛々たる褐色の焔に包まれてゐる、陸戰隊佐野部隊麾下の今井、宮崎兩部隊は一齊に前進を開始し、敵またわが前進を阻止すべく必死の反擊を續けてゐるが午前十時現在陸戰隊は着々優勢なる地歩を占め、士氣旺盛である

[上海廿八日發國通] 南京空襲と同時にわが海軍航空隊田中大尉指揮の江草、南郷各部隊は廿八日午後一時卅分頃揚子江沿岸蕪湖飛行場を空襲し格納庫および場內の飛行機四機を完全に爆破炎燒せしめ、一機を破壞、さらに倉庫一を爆破しタンクは濛々たる黑煙に包まれた、敵は午後二時頃カーチスフオーク三型戰鬪機一機をもつて反擊し來つたが、わが南郷部隊の加藤隊の猛擊に蕪湖の東方約十キロの揚子江に擊墜された

[上海廿九日發國通] 廿九日朝八時四十分わが海軍機○機は密雲を衝いて閘北上空に現はれ敵陣地に猛烈な爆擊を敢行した

[上海廿九日發國通] 廿九日午前五時五十分わが江上艦艇は一齊に砲門を開いて浦東の敵砲兵陣地に砲擊を開始した、敵陣地と思はれる地點に火災を起してゐる

[平地泉廿八日發國通] 德化を出發茫漠たるゴビ沙漠地帶を西南に進擊中の錫林郭爾旗兵及び幼年學校學生隊をもつて編成せる內蒙古軍は、廿七日拂曉綏遠軍東北戰線の要地錫拉穆林廟を占領し、百靈廟に向け進擊中

[平地泉廿八日發國通] 商都及び平地泉を發した李守信の率ゐる內蒙古軍は、廿六日午後六時陶林にある綏遠軍と激戰の末同地を占據一部をもつて西北方に逃走中の敵を急追中である

敵の損害意想外に大

[上海廿九日發國通] ○○部隊が廿七、八兩日の戰鬪に捕へた捕虜の言を綜合すると敵軍の損害は意想外に多く、陳誠の直系十四師の如きは殘兵二ケ聯隊程度となり殆ど全滅の狀態で戰鬪力を喪失し、ためにさきに羅店鎭攻略戰に際し敗退し嘉定に退いた六十七師と合流され新六十七師を結成第一線に送り出された程である、なほこの他五十八、五十九師はすでに潰滅に瀕し、十一師もまた三分の一の主兵を失つた模樣である

わが江上艦艇 浦東の敵を制壓

[上海廿九日發國通] 艦隊報道部廿九日午前十時發表 今朝午前四時わが軍艦○○右舷後方遠方にて支那軍の機械水雷炸裂し、同時に浦東側より猛烈に射擊を開始せるにより、わが江上艦艇は一齊に砲門を開き、わが海軍航空隊の活躍と協力してこの敵を制壓せり

衆議院慰問團 軍司令官訪問

滿ソ國境警備の第一線に活躍する皇軍慰問のため來滿した衆議院議員北滿派遣軍慰問團一行十二名は東寧、綏芬河、牡丹江、撫河、哈爾濱方面の皇軍將兵の慰問旅行を終へ元氣な顏を揃へて廿八日午〃九時着列車で來京したが廿九日午前九時四十分新京神社、忠靈塔に參拜、關東軍に植田軍司令官を訪ひ會見した(寫眞は軍司令官と會見の衆議院慰問團一行)

平漢線の急追戰 新樂南方八キロの堙頭に達す

[北平廿八日發國通] わが先鋒部隊は廿七日午前五時新樂南方二キロにある敵約一ケ連を攻擊してこれを擊破し、さらに幅三百米、深さ二米の沙河の强行渡河を決行、これを急追して同日正午頃新樂南方八キロ　頭に達した

察哈爾蒙古民族 日蒙軍に呼應して起たん

[平地泉廿八日發國通] 破竹の勢を以て綏遠に迫りつゝある日蒙軍の猛擊振りに包頭西北方五原方面の人心動搖、蒙古族の一部は內蒙軍に呼應して起たんとする形勢あり、省政府はこれが懷柔に腐心してゐるといはれる

支那漁船擊沈說は爲にする宣傳 —海軍省副官談—

[東京國通] 英國ロイテル通信報道によるわが潛水艦の支那ジヤンク船擊沈は全く虛報で、陰險なる支那側の宣傳に乘ぜられたものであるが、これに關し海軍省では廿八日午後四時半副官談の形式をもつて左の如く發表した

最近南支方面において支那漁船が日本潛水艦に擊沈せられ多數の死傷者を出せる旨外國新聞に報道せられあるも右は全く無根の宣傳にしてわが海軍においては苟くも敵意を有せざる漁船、ジヤンクなどに攻擊することなきやう嚴に注意しあるをもつて、今日まで潛水艦は勿論わが艦船が無辜の支那漁船を襲擊したるが如き事實は絕對になし、右は最近廣東方面においてわが海軍航空部隊の爆擊により非戰鬪員に數千の死傷者を出せりとの流言と等しく、わが方を不利ならしめんとする虛構の宣傳にほかならず、支那側は英米の輿論を惡化せしめんがため凡ゆる努力を拂ひ最も巧妙なる方法により虛構の事實を流布宣傳しつゝあるをもつて帝國海軍が言明せし通り第三國ならびに一般民衆に損害を加へざるやう最善の注意を拂ひつゝある誠意に信倚し、かゝる宣傳に迷はされざらんことを望んでやまぬ

戎克擊沈說に 海軍當局談話發表

[上海廿九日發國通] 香港沖におけるわが潛水艦の支那ジヤンク擊沈云々の外人側の報道に對しわが海軍當局は左の談話を發表した

一、ドイツ商船シヤルンホルスト號が香港沖において救助せる支那人の言として多數のジヤンクが日本潛水艦のため擊沈された件に關し愼重な調査の結果、帝國海軍艦艇はかくの如き事實なき事を確めたり、即ち日本は奧門沖附近に行動せる潛水艦なし、日本海軍が支那民衆に對しその生命を尊重せるは艦隊長官の南京空襲の際における警告及び本田大使館附武官が去る二十五日外人記者團に對しなしたる談話においても明かなり帝國海軍各員は今次支那沿岸封鎖において左記を嚴守せり

一、支那艦船にして軍事行動をなすものを除き一般船舶はこれをわが指定する地點に留置せることありしもわが方の命に從ふ場合これを擊沈せざること

一、沿岸漁業に從事する小舟は特殊なる場合の外拿捕せざること

右は充分帝國海軍一般に徹底し、これを犯すものなきを信ず、本事件の如き帝國海軍の公平なる態度を汚すが如き宣傳に乘ぜられることなきを望むものなり、帝國海軍は過去において支那の宣傳するが如き殘虐をなしたることなきは勿論將來においてもこれを行ふことなし

ロイテル通信 日本を誹謗

[香港廿八日發國通] 支那にあるロイテル通信員が事變發生以來日本を誹謗する虛僞のニユースを度々報道し今や同通信の信用全く失墜せしめつゝあることは周知の事實であるが、今回又もや全く根據なき虛報を報道して世人を驚かしてゐる、すなはち同通信は去る廿二日日本の潛水艦は香港附近において支那戎克を擊沈した、遭難せる乘員は折柄通航中のドイツ商船シヤルンホルス號に救助されたと報道したが、わが當局の詳細なる調査によれば、右シヤルンホルス號は事件が發生したと報道された廿二日には神戶港に碇泊し翌廿三日神戶出帆廿七日マニラに入港、目下同港に碇泊中である、なほ同船は香港を一切通航せざりしこと明白となり、香港ロイテル通信の極めて惡辣な報道振りにはわが關係當局も非常に憤激してゐる

資源局、企畫廳 統合强化方針決定

[東京國通] 廿八日の定例閣議は廿八日午前十時卅五分より開會、全閣僚出席まづ近衞首相より

資源局ならびに企畫廳を統合して戰時に對應すべき新機關を設け、諸般の政策決定の基礎機關としたい

旨を語り全閣僚異議なくこれを承認し、こゝに兩機關の統合强化方針を決定、ついで新機關の名稱、組織、要綱などについては煩雜を避けるため改組委員會はこれを設置せず風見書記官長の手許において整備したる上來る一日の定例閣議に附議、正式決定することゝしさらに杉山、米內兩相より別項の如き報告あつて同十一時廿分散會した

外務省辭令

[東京國通] 外務辭令(廿七日)

大使館一等通譯官 原田龍一
同 淸水董三
任大使館三等書記官 中華民國在勤を命ず(各通)

わが空爆に對する聯盟非難は不當 海軍當局見解表明

[東京國通] 廿七日の聯盟廿三國諮問委員會は誤れる新聞報道および支那代表の一方的デマ主張を基礎にわが軍の空爆を非難せる決議を採擇せる事實に對し、わが海軍當局は左の如き見解を表明した

一つの國家が全機能を擧げて國家の生存と發展を阻害する不正不義を打破し、急速に事態を收拾せんがために多大の犧牲を拂つて奮戰を續けてゐる眞劍な事實を前にして單なる一部の新聞報道乃至一方的の主張のみをもつて是非の判定を公表するが如きは輕卒のそしりを免れず、殊に國際聯盟は過去における累次の失敗をこゝに再び重ねるものである、しかもこれがため誤りたる印象を一般人に與ふるに至つては寧ろ有害無益も甚しいといふべきである、今次事變勃發以來帝國軍隊の攻擊目標は嚴重に支那軍隊および軍事關係施設に限定され、これが敢行にあたつては愼重を旨としこれがためわが方としては軍事上多大の不利をも忍んで來たのである、かの南京空爆にあたつて第三國人および無辜の支那市民に對して軍事施設爆破に必然的に伴ふ危險を豫告し避難退去を勸告したるが如きまた軍事上極めて重要なる役割を演じつゝある粤漢鐵道が連日連夜多數軍隊および莫大な軍需品を北方戰線に輸送しつゝあり、これがためわが軍の犧牲は當然豫測せられる狀況にも拘らず避難者の無事輸送を待ち豫告期間に更に餘猶を與へてはじめて線路破壞、軍需品輸送貨車の爆破を決行したるが如きさらにまた某方面空爆に向ひたる飛行機は目的地上空へ到達したるにかゝはらずその軍事目標の判然ならざるため空しく爆彈を抱いたまゝ基地に歸還せるが如き次第である、なほまた軍事目標の爆擊に際しても着彈を目標に極力限定せんがために防禦砲火の危險を冒して急降下爆擊を行ひ、これがため犧牲の增加を來せるが如きこれ等の事實に鑑みても日本の空爆が如何に軍事施設に限定してゐるかを知ることが出來る

獨伊兩獨裁王 伯林羅馬樞軸を强調

[ベルリン廿七日發國通] ヒトラー總統は廿七日午後八時半總統官邸においてムツソリーニ首相歡迎の大晩餐會を催したが、席上兩獨裁王は和氣藹々裡に乾杯、交々起つてベルリン・ローマ樞軸を禮讃し、獨伊兩國はボルシエヴイズム克服なる共同の政治的思想のもとに堅く結ばれ、世界の平和ならびに歐洲文化の確保を希求するものなる旨を强調した

廿九日朝迄の支那各地戰況

▲平綏線方面 平地泉および商都より進擊した李守信の內蒙古軍は廿六日陶林を奪取したなほ綏遠軍の據る錫拉穆林廟も去る二十七日內蒙古軍の占領する所となり、目下ゴビの大沙漠を堂々百靈廟に向け進擊中

▲平漢、津浦線方面 連戰連勝の皇軍は保定、滄州兩地を拔いて進擊又進擊中であるが、一方兩線の中間地區、河北平原心臟部を粉碎中で、空軍部隊は廿七日以來獻縣、藏家橋を猛爆した、獻縣の敵兵が潰滅されるのも目睫の間であらう

▲中南支方面 連日わが空軍は中南支の空に悠々爆擊を續けて居り、廣東、南京の軍事施設および上海の敵陣はすでに覆滅し去られた模樣である、楊行鎭、羅店鎭陣地の敵部隊は續々わが軍に投降中

人事往來

着京

▲牛木寛三郎氏(哈市居留民會長)廿八日來京向陽ホテル
▲辰三那兵衛氏(實業)同
▲山崎藤太郎氏(請負)同國際ホテル
▲尾藤春一氏(官吏)同
▲三上松次郎氏(同)同
▲尾原英三氏(實業)同
▲中津川次郎氏(同)同
▲高畠徹平(滿炭社員)同新京ホテル
▲西村泰三氏(實業)同
▲小川一郎氏(滿鐵社員)同
▲原竹八十一氏(吉川組社員)同
▲川口晴弘氏(滿鐵)同
▲田島國太郎氏(商業)同富士屋旅館
▲內田寅次氏(官吏)同
▲遠藤文守氏(同)同
▲渡邊秀楠氏(同)同
▲佐能國男氏(同)同
▲松尾光治氏(會社員)同蓬萊ホテル
▲高橋卓氏(木材業)同
▲相原一馬氏(滿鐵社員)同
▲坂本筑水氏(會社員)同都ホテル
▲村越信之氏(官吏)同
▲古味俊雄氏(會社員)同
▲古澤幸三氏(建築業)同
▲松原定吉氏(會社員)二十八日來京帝都ホテル
▲角田晴吾氏(商業)同
▲宗義夫氏(官吏)同
▲栗田利平氏(會社員)同
▲齋藤正己氏(會社員)同

出發

▲內野正夫氏 廿八日發奉天へ
▲難波秀一氏 同
▲古野子一郎氏 同
▲和田龍三郎氏 同
▲稻垣道春氏 同吉林へ
▲內田俊太郎氏 同奉天へ
▲若林武雄氏 同哈市へ
▲岡崎康一氏 同
▲田井信行氏 同奉天へ
▲高木德次氏 同撫順へ
▲牛山藤吉氏 同白城子へ
▲長谷川常吉氏 同哈市へ
▲鈴木春海氏 同
▲入口武男氏 同大連へ
▲中山定雄氏 同奉天へ
▲山田喜藏氏 同哈市へ
▲山西力藏氏 同
▲筒井行夫氏 同大連へ
▲草野美雄氏 同鞍山へ
▲宮嗣義智氏 同吉林へ
▲酒井榮一氏 同遼陽へ
▲北田榮太郎氏 同大連へ
▲兒玉廣治氏 同依蘭へ
▲常見章雄氏 同吉林へ
▲青山藤藏氏 同
▲田村喜代志氏 同哈市へ
▲中澤武次氏 同
▲小林有信氏 同吉林へ
▲前田唯好氏 同大連へ
▲香月光治氏 同奉天へ
▲淸海武夫氏 同內地へ
▲松永豐氏 同北安鎭へ
▲大野久治氏 同吉林へ
▲山口富次郎氏 同双陽へ
▲蘆澤影雄氏 同北安鎭へ
▲持麾友吉氏 同哈市へ
▲長井敏三氏 同

その日く

□ ボ大使飛んで愈よ南京・モスクワ樞軸成るか、寧ろ南京の朝貢といふべきもの
□ だが日每擊破されゆく抗日戰線である、連絡路も何時まで保てる事か
□ ベルリンでは兩巨頭防共を獅子吼して、遙かに東亞の現勢に應じた
□ 慰問團慰問のほかに新認識を得たとあれば、これはまた自ら大いに慰めるに足る
□ 曰く空襲荒鷲部隊、曰く南京爆擊隊、曰く起て皇軍、これは圓盤兩名に溢るゝ時勢色

北支產業對策は
五ヶ年計畫に含まれてる
今更外國に叩頭必要なし
時局を語る 松岡滿鐵總裁

滿鐵明年度の資金問題、北支產業開發等重要問題を携へ中央政府と折衝のため上京中であつた滿鐵總裁松岡洋右氏は八辻秘書帶同二十五日東京發京城に一泊南總督と會見二十八日飛行機にて奉天着總局會議室にて大村總局長始め來奉理事と重要會議のゝち同日午後十一時五十分奉天發列車にて出發二十九日午前八時着列車で山口支社長ら關係者の出迎へをうけて來京直ちに理事公館に入り小憩の後午前九時から關東軍司令部に植田軍司令官を訪問軍要會談を終へ大連本社で開かれる重役會議に列席のため午前十一時五分南飛行場發滿航旅客機にて一路大連に向つたが總裁は語る(寫眞は松岡總裁)

世間では最近滿鐵改組案とか北支經濟開發とかいろ〳〵騒いでゐるやうだが、事變がどこまで進展するかその見透しさへついてゐないぢやないか、今頃騒ぐのは今度の事變を餘りに小さく見過ぎてゐるからだ、支那事變はそんな小つぽけな事變ぢやない、北支の產業開發といふことは北支一億民衆のためにも日本の產業**計劃の**上から見ても可及的速かに適切なる方針を樹てることは刻下の急務であり政府でも鋭意研究を進めてゐる、僕としても北支將來の問題に關する方針を政府に出して置いたがその內容は今發表の限りでない、北支に於ける新事態の發生により滿洲の產業計劃に**支障を**來すのではないかといふことを心配してゐる向があるやうだが滿洲に於ける產業開發計劃は日滿鮮北支を一經濟單位として考慮されてゐるのであるから北支に新事態が發生したとて別に從來の計劃に變更を加へる必要はない、從つて滿鐵の來年度豫算も**五ヶ年**計劃に則つて編成するのであるから資金難等あり得やう筈はない、最近內地財界有力者間の滿洲に對する認識の深まつたことは驚くの他はない、滿炭シンジケート結成などその一證左であつて寶來興銀總裁なども驚いてゐた、資金難は何も滿鐵だけの**問題で**はない最近資金統制の見地から不急事業には融資を控へるとのことであるが滿鐵に關する限り不急事業は一つもない、而し急を要するものであつてもそこには自ら前後があるため最も急を要するもの例へば製鐵石炭液化といつたものを先にし比較的急ならざるものを押へることゝし資金**關係を**鹽梅して行きたいと思ふ、資金調達に關して今具體的に申上げることは憚るが些かの杞憂なきことは明らかであることだけははつきり申上げる、時局に對する內地の張り切りやうは大したものだが少し上つ調子になりはしないかといふことを心配した、僕が遣米**使節に**なるのではないかといふことを聞く人があつたので僕はその人に日本は米國の屬國かと反問してやつたら始めて分つたやうであつた、どうも日本人は外國を崇拜し過ぎる傾があつていかぬ、使節などといふ言葉がそも〳〵當を得てゐない世界一の日本が何も外國へ頭を下げて行く必要はないではないかと例によつてあたるべからざる大元氣であつた

初冬の依蘭縣に
續々匪團を擊滅
縣境山中に追擊又追擊す
松井部隊掃匪戰況

松井部隊の最近掃匪情況は次の通りである

一、越生部隊の濱田隊は九月十六日依蘭縣前刁東方約六キロの山中に王蔭武匪約八十の露營中なるを偵知、直ちに急襲、夜闇に乘じてこれを擊滅した、同匪は周章狼狽遺棄死體六、小銃四、拳銃一、彈藥二百を殘して四散した、わが方損害なし

一、同部隊の辰巳隊は同日〇〇縣〇〇附近に金山および劉團長の合流匪約百五十を包圍攻擊、午後五時これを北方に擊退した、同匪の損害死體十一、斃馬八、鹵獲小銃三、彈藥百三十七、わが方損害なし

一、澤部隊の向井部隊は同日午後十一時依蘭縣大平鎭西方約十キロ八森子において約六十の騎馬匪と遭遇、交戰四時間にしてこれを潰走せしめた、同匪の損害は遺棄死體二、斃馬二、鹵獲小銃二、馬七、わが方の損害なし

一、渡邊討伐隊は十二日依蘭縣境三黨泡の謝文東系匪巢部落を攻擊、これを燒翔擊滅した、匪の損害莫大なる見込み

警察官留學生
第六期生歸着報告
更に警察學校で懇談會

警務司では治外法權撤廢に備へて警察官素質向上に意を注ぎ澁谷警務司長着任以來中央警察學校、地方警察學校の充實、整備に着々と實績を擧げてゐるが過般滿系警察官より選拔して內務省講習所に留學せしめた第六期留學生が二十八日新京に歸着したので二十九日午前八時三十分より治安部會議室に於て澁谷司長、菅秋吉、高山、田中各科長、丹羽督察官等出席のもとに歸着報告をなし、警務司長の訓示ののち、關係官廳を訪問挨拶を述べたが午後一時より中央警察學校にて懇談會を開催した

治法撤廢を控へ 不良分子を一掃

治外法權撤廢以前における肅正工作に乘出した哈爾濱領事館警察ならびに滿洲國警察廳では緊密なる連絡の下に共同戰線を張り廿五日拂曉を期し全滿一齊に麻藥密賣者ならびに吸飲者及び脅迫團等の大檢擧を實施、領警側は半島人卅四名、內地人十二名 警察廳側は滿露鮮人男女二百名をそれ〴〵檢束、本署に留置訊問を開始した、近く第二次手入れを斷行徹底的肅正を圖る方針である

デマ放送の本家
今や放送陣氣息奄々

デマ放送ではどの國にもひけをとらぬ支那側が金城湯池と頼んだ南京七十五キロ放送局もわが海の荒鷲部隊の猛襲に遭ひ三發の爆彈のため木葉微塵となつたことは既報の通りであるが、支那側が應急的措置と稱する金陵放送局の二百ワット放送も氣息奄々命脈を保つ程度に過ぎず、その餘命は幾許もなく南京政府の放送動脈は今や全く切斷されんとするに至つた、抗日侮日と歐米依存で凝り固まつた支那側がこのラヂオ放送で自國民を今日の窮狀に陷れた罪は言ふまでもないが、例の宋美齡女史の對米泣言放送や怪しげな日本語を使つての侮日放送など曳かれ者の小唄の感がないでもない

電々慰問團

電々會社廣瀨總裁は北支通信事業の視察を兼て日夜活動中の皇軍將兵慰問のため河田秘書、鹽田機械課長、馬淵大連管理局長等を隨へ去る九月二十日出發天津、北平その他慰問行中であるが北支方面には電々社員も多數派遣されてをり兵火の中に通信に從事し苦難を排して健鬪中であるので之に對しても慰問團を派遣することゝなりその第一回慰問團として三木營繕課長以下五名は二十七日新京を出發したが全社員の心からなる慰問品を多數携行した

因みに廣瀨總裁は十月二日、第一回慰問團は同十日歸任の筈で第二、第三慰問團も逐次出發することになつて居る

國都建設功勞者
屯、街長約三百名を表彰す
恩賞局で名簿に付詮衡中

國都建設局では第一期計畫終了と同時に引續き第二期三ヶ年計畫を樹て目下具體案審議中であるが第一期國都建設に功勞あつた民間側有力者を表彰すべくかねて土地課に於て調査を進め此の程國建管內屯長、街長約三百名を功勞者として最後的決定をみ、恩賞局に名簿を送附した、恩賞局では名簿に基き更に詮衡の上表彰することとなつてゐる

街の明朗化具体化し
露店商を東大橋に一纏とめ
愈々あす露店立賣場開場式

特別市公署では東四馬路一帶の大小道路に充滿してゐる露天商は非常に不衞生で交通上に少なからず不便を來してゐるばかりでなく國都の市街美を甚だしく害してゐるのでかねて首都警察廳と協議中のところ東大橋西側の市有地(面積三、一六三平方米)に暫定的設備を加へ以上の露天商を收容し三十日東大橋露天商立賣場開場式を行ふこととなつた、本賣場の開場に依つて衞生、交通上益するばかりでなく東大橋附近一帶の都市美は面目を一新するものとみられてゐる

盜んだ衣類で巧みに變裝
竊盜常習のヘロ患半島人
城內で遂に捕はる

本月上旬新京署財前刑事が梅ヶ枝町四丁目肥後屋質店附近警戒中折柄路上を徘徊する擧動不審の半島人を發見誰何訊問せんとするや同人は所持せるオーバーを捨て矢庭に逃走いづれにか姿を晦ましてしまつたが、右オーバーは去月廿四日特別市北安路市營住宅寺石安弘氏方に於てオーバー其他時價約百圓竊取せる品物と判明したので以來擧動不審の半島人につき搜査の歩を進めてゐたが、杳として所在不明のところ、偶々城內西五馬路一五號ヘロ店に立廻るとの聞き込みを得て去る廿九日干、李兩刑事の應援に同家附近張込み中午後十一時頃着衣人相酷似せる不審の半島人が立廻つたので有無を言はさず本署に連行取調べの結果罪狀一切を自白した

右は朝鮮咸鏡南道新興郡生れ住所不定安龍雲(二二)で八月中旬頃より現在に至る間前記寺石方外五件に亘る竊盜常習犯でその被害衣類その他約千圓、贓品は西五馬路翠華街新市場紫衛品密賣業金東哲に賣却せるもので金は贓品故買で直ちに檢擧された、尚犯人安はヘロ中毒患者で竊取せる贓品によつて變裝し當局の搜査網を逃れてゐたもので目下兩名とも司法係に於て嚴重取調中である

簡易保險と銃後の護り
拂込期間猶豫

簡易保險局では曩に北支事變勃發するや逸早く出動軍人軍屬の契約する保險料拂込猶豫期間を六ヶ月伸ばして之等契約者を保護して來たのであるが其の後事變は益々擴大する一方なので今回更に猶豫期間を伸ばし且適用範圍を廣めて時局に對處すると共に新加入者の便宜をも圖つて銃後の護りに萬全を期することゝなつた、今其の要點を擧ぐると

一、應召又は出動した軍人、軍屬を被保險者として親族又は後援會など非營利團體から保險加入の申込を爲す場合には夫が三月以內ならば郵便局員との面接を要しない又被保險者が名譽の戰死をした場合には災害と見做して直に保險金全額の支拂をする

二、應召又は出動した軍人軍屬並に其の家族などを契約者とする簡易保險及郵便年金の掛金が拂込困難になつた者に對しては召集解除又は歸還の月の翌月迄拂込を猶豫する、若し翌月中に猶豫せられた金を一時に拂込むことが出來ない場合は翌二月から一年內に分割して拂込むことが出來る

三、事變のため支那から引揚げて來た保險契約者で保險料拂込困難な者には拂込月に應じ六ヶ月以內猶豫する

素破ッ一大事
に備へて避難、救護
白菊校兒童が訓練

白菊小學校では非常時に備へ全校擧げて避難、救護の訓練演習を廿九日午前十時半より約廿分、正午より約十五分の二回に亘つて實施し多大の效果を收めた

自疆會業績

新京特別市東三馬路に平井織之助氏の經營する失業者救濟の自疆會は昭和八年十月設立本年八月末迄の統計によると入會者六百四十一人、就職者三百四十二人、退會者二百七十一人、八月末現在人員二十八人、以上收容延人員二萬九千四百三十四人、入會者の出身地は鹿兒島縣三十五人を筆頭に沖繩を除く三府四十二縣北海道、樺太、朝鮮等に亘つてゐる、年齡は最年少十六才最高五十六才・學歷義務教育修了並に中學程度最多、大學卒業九人、職歷は農、事務員商店員等四十數種に上り就職先は商店、土建、會社方面等二十種であつたと

釜山にコレラ
安東では非常防疫陣

釜山にコレラ發生の報に安東關係當局では俄かに緊張防疫方法につき種々打合せを行ふとゝもに取敢へず鴨綠江岸居住民および船舶業者に豫防注射を施行滿洲國の關門における漏疫の入國に必死の警戒陣を布くことゝなつた

眞道畫伯渡支

【東京國通】さきに上海戰線に從軍した若手畫家四名はそれぞれ得意の筆を揮つてゐるが、日本美術院會員眞道黎明畫伯は北支戰線に從軍してわが軍奮戰の樣を獨自の彩管に寫し銃後の國民にその勇壯を知らすため廿七日夜東京發廿九日神戸出帆の南嶺丸で一路天津へ向つた

三度も侵入學校荒し崔
共犯遂に捕はる

既報、櫻木小學校其他學校をさん〴〵荒し廻つた學校荒し竊盜犯人は曩に長通路署に逮捕されたが、尚他に共犯か或は別人の犯人あるものと睨んだ領警署谷口刑事は張、金兩刑事と共に極力搜査中のところ、偶々本籍朝鮮平安南道順川郡內南面住所不定無職崔錫萬(一八)が最近萬年筆鉛筆等を行商し擧動不審との聞き込みを得て崔の所在をつきとめるべく搜査しつゝあつたが廿八日午後三時頃永樂町四丁目路上で發見、有無を言はさず檢束嚴重取調べの結果、崔は前記櫻木小學校に於て前後三回に亘り侵入毛布、時計其他及現金十二圓を竊取し贓品はボロ買ニーヤに二東三文にたゝき賣り飲食遊興に費消せる旨自白した

田中警務部長
初度巡視
明日は領警へ

田中警務部長は青木警務課長帶同廿九日午前中附屬地憲兵分隊を、午後新京署を初度巡視各幹部の伺候を受け署內を巡視した、尚卅日は午後一時より領事館警察署を巡視する

滿鐵消防隊 秋季競技會

滿鐵消防隊では二十九日午前八時より隊內裏庭に於て秋晴れの運動日和に惠まれて隊員の秋季競技會を開催、パン喰ひ競爭、瓶釣り競爭及紅白バレーボール對抗試合等數種目の演技に打興じ正午閉會した

朦朧運轉手處分

特別市東三馬路門牌七十五號季均運轉手(二八)國都建設局自動車運轉手谷玉琳(三〇)は朦朧運轉手として二十八日首都警察廳より免許停止處分となつた

東次郎事務官 卅日はとで離京

內務局財務科事務官東次郎氏は內務省地方局財務課理事官に榮轉することとなり三十日午前十時發「はと」で離京赴任の途に就くことゝなつた

氏は大同二年九月內務省より選ばれて青森縣事務官より民政部財務科事務官として着任、國內行政制度の整備殊に稅制の改革に敏腕を振ひ過般の省地方費の設置は氏の蘊蓄に俟つものが多く氏の離滿は各方面から痛惜されてゐる

敷島高女 青木教諭 高等官待遇發令

【東京國通】新京敷島高等女學校教頭青木義雄氏は、廿八日附をもつて高等官五等待遇の教諭に任ぜられる旨、內閣辭令をもつて發令された

小田十莊懲役 六年の判決

【東京國通】美濃部博士狙擊犯人小田十莊に對し廿八日檢事求刑十年に對し、懲役六年の判決言渡があつた

南極捕鯨戰に 第二圖南丸初陣

【大阪廿六日發國通】第二圖南丸(一九、四二五トン)は二十六日午前十時大阪港を出港、秋晴れの祖國を後に全員勇躍八隻のキヤチヤーボートを隨へ初陣の門出についた

滿洲國足球團 全廣島破る

3—2

【廣島國通】滿洲國足球團最後の試合である對全廣島の一戰は廿八日午後滿洲國軍の先蹴で擧行、全滿軍は全廣島の猛追を退け三對二にて勝ち結局日本における成績は二勝三敗となつた

滿軍 2—0 1—2 全廣島

台灣茶商組合員 挨拶に來社

同業組合臺灣茶商公會長陳天來氏以下茶商組合員は台灣總督府殖產局特產課員古澤悌次氏と二十八日挨拶に來社した

水力發電會社 設立披露

滿洲鴨綠江水力發電株式會社朝鮮鴨綠江水力發電株式會社社長野口遵氏は來月一日午後六時から新京ヤマトホテルに日滿各界代表を招待して披露を行ふ

あす (三十日)

▲北支戰勝祝賀大會、午後三時、大同公園 ▲日滿親善展覽會、寶山百貨店 ▲臺灣茶展示會、午後一時―五時、公會堂二階 ▲未教育補充兵教育第三日、午後四時半、商業學校 ▲郵政儲金通帳引換締切 ▲司法部書記官執行官應試締切 ▲フルマラソン申込締切、民生部內陸上競技協會へ

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇物語「慰問袋」(東京)西村樂天 ▲八・三〇淸元「月花玆友鳥」(東京)淸元巴榮太夫外 ▲八・五五連續ラヂオドラマ第三夜「赤穗浪士」(大阪) ▲一〇・一〇ニユース再放送 ▲一〇・三〇北滿の時間

再映プロ　けふからの帝都キネマ

帝都キネマ廿九日よりの番組は左記二番線プロ三本立である

▽メトロ「空の軍隊」ウォーレス・ベアリイの主演する空中戰映畫で、空の勇士の養成と華々しき活躍を經に微笑しい父と子の愛情を緯として描くリチャード・ロッソンの監督作品、ロバート・ヤング、モーリン・オサリバン助演

▽同「エスキモー」極地氷塊の世界を背景にエスキモー青年が逞しい爭鬪の姿を描いた娯樂品、W・S・ヴァンダイクの監督作品である

▽「世界の終り」アベル・ガンスの監督作品で地球と彗星の衝突を主題に描かれた空想映畫

松竹大船撮影所　國民精神總動員

城戸大船所長は各社に率先して大船製作機構に戰時體制を布き早くも今年一杯の公開映畫の整備を終へ明春以降の陣容について企畫プランを練つてゐるが時局に於ける大船の製作態度に就いて「國民精神作興に資せん」と大要左の如き聲明を首腦部へ發表した

一、大船は飽くまでも映畫製作の最高位を誇り、その製作態度はこの時局下に處して日本精神の昂揚、社會思潮の一新を期し銃後の後援を更に強化持續し、國民精神の總動員に資さんとす

一、從つて製作映畫の質的內容はこの際更に技術的思想的に向上優位を期し斯界第一人者を確保せんとす

我立場闡明の爲　輸出事變映畫製作

外務省の外廓ユニット國際映畫協會ではこの程理事會を開催協議の結果、今次支那事變の原因、日本の東亞安定の盟主としての立場等を記錄映畫に製作することに決し各社のニュース映畫に協力を求めた上二卷にまとめて英獨佛三國語版に製作して海外へ輸出することになつた

なほ曩に同協會が巴里博覽會に出品した松竹映畫「荒城の月」は歐洲各地で大好評であるが、これにつき蘭領印度支那の石澤總領事から同映畫受付方の申込みがあり、直ちに送付することに決定した

日活多摩川でも精神總動員

日活多摩川撮影所では近衞內閣の國民精神總動員計畫並びにその指導精神に協力の赤誠を示す可く、この程根岸所長より所員に對し左の訓示をなすと共に國民精神總動員計畫に對する協力實行委員を特命して全所員の支持を要請した

(イ)今非常時局の眞相把握(ロ)多摩川出身應召者の銃後扶助(ハ)多摩川作品の非常時企劃指導精神(ニ)長期非常時に對する資源愛護法

以上目的實現のため特設されたる委員は銃後扶助委員、防護團委員、物資調査委員、能率增進委員

海外映畫短信

近日入荷するメトロ映畫左記三本の題名が決定した

▽『愛國パーネル』愛蘭士の愛國者パーネルの多彩なる半生を描いたエル・ティシヤッフラーの舞台劇を映畫化した巨匠ジョン・エム・スタール監督作品クラーク・ゲーブル、マーナ・ロイ主演

▽『極樂撮影所』從來のローレル、ハーディ共演喜劇として筋の構成を異にし、主としてパッシイ・ケリイ、ジャック・ハレイ、ロジナ・ローレンスの三人を中心に進められ、之にミッシャ・アウワー、リダ・ロベルチを加へ、極樂コンビのローレルとハーディは筋のクライマックスに重要人物として登場する、前記七大スタア競演の作品で本篇の特殊のアトラクションは大規模の映畫製作の實況が加へられてゐることである、ハル・ローチ總指揮エドワード・セヂウイック監督

▽『拾三番目の椅子』ベイヤード・ヴェイラーの舞台劇を映畫化した怪奇殺人事件に絡む戰慄である、マッヂ・エヴァンス、デーム・メイ・ホイッテイ、ルイズストーン、エリッサ・ランデイ、トーマス・ベック、ヘンリイ・ダニエル主演、監督ジョージ・ビー・サイツ

ギャングの花嫁

△メトロ映畫　△キャロル・ロムバートとチェスター・モーリスの主演する映畫でジャック・コンウェイの監督作品である、チャールス・フランシス・コウの短篇小說に基くシナリオで、ギャングの親分の用心棒と會計を勤める男が親分の惚れ込んでゐる踊り子と添ひとげる經緯に、惡くたれギャングの乾分どもが盛んにこれを邪魔をする、ザス・ピッツ、レオ・カリロ、サム・ハーディー等が助演、帝都キネマ一日封切

さぼてん

富士町の麥酒家に新妓が三人二十七日から現はれた、內二人は信州は淺間山の麓で生捕つた、オットちがつた、淺間溫泉で鳴らしてゐた信州うまれ、木曽ぶし、伊那節などは本場もの、吉也といふ方が二十二、おもちやといふ方は二十、も一人は江戸ッ子、名は福太郎年は十七、いづれも二十七日に稼業鑑札が下りたてのホヤホヤ、以上は新京放送局では放送しなかつたが本社の受信機には明瞭にはいつて來た

雜音

新京キネマ再映プロの初日はいゝ入りを見せ補助椅子も出る盛況を見せた、再映ものながら力並あるものを並べたのがよく響いたのであらう▼豊劇の「マドリッド最終列車」もうけてゐる、次週は一日から「巨人ゴーレム」が登場する▲帝都はメトロ二番線に次いで來週は又「ギャング大會」である、よくよくこれに惚れたものと見える、ものは「ギャングの花嫁」「ハアさん捕物帖」などである▼長春座の「男の償ひ」は一日からでなく卅日からの誤記に付訂正

木曜　庚申　先負　閉　奎宿
舊八月二十六日

●一白の人　氣を揃へて本業を勵むが安全普請轉宅は凶　坤と庚と亥が吉
●二黑の人　儘にならぬが浮世と觀念し餘り焦らぬが吉　丙と亥と壬が吉
●三碧の人　氣運良好なれども人の反感を購はぬ樣注意　庚と辛と寅が吉
●四綠の人　悠長に過ぐれば缺陷を生ず緊張を要する日　乙と丙と寅が吉
●五黃の人　願望半ばにも達し難き衰運日焦れば更に凶　丙と亥と壬が吉
●六白の人　運勢壯なる日起業開店名弘め普請雜作皆吉　丙と丁と壬が吉
●七赤の人　油斷すれば階段を踏外す如し足元用心せよ　丁と壬と癸が吉
●八白の人　衰兆甚しき日萬事進むに凶分に安ずること　丙と亥と癸が吉
●九紫の人　進退駈引六か敷き日遠行は差支なかるべし　甲と丙と酉が吉

支那事變を契機に 滿洲經濟も轉換

日滿經濟關係愈よ强化の一途

支那事變を契機として行はれた日本の經濟政策の轉換はそれと不可分關係にある滿洲國の經濟政策の轉換を招來した兩國の不可分性は戰時體勢を基準として愈々强化され、政治經濟兩面においてすばらしい發展を將來に豫測されてゐる、目下政府當局において立案考究中といふ非常時貿易管理法、資金統制法或は爲替管理法の改正等々は日本の轉換に伴つて當然立案又は改正せられるべき要件で、かくて兩國の關係は新しい體勢において愈よ强化されんとしてゐるかゝる將來性ある見透しにも拘らず日本の轉換は目下進行しつゝある産業五ケ年計畫を中心として滿洲國側において相當憂慮すべき諸種の問題を提出してゐると杞憂されてゐる、即ち日本における生産力の擴充强行は多大なる資金の需要を伴ひ、それがため從來滿洲國側に流入すべかりし資金も杜絶し早速産業政策の訂正を餘儀なくされ、既にこの現象は有力特殊會社の資金需要面に現れ日本内地において豫定されてゐた需要計畫には大なる錯誤を來たし、無い袖を無理に振りながら現地調辨の餘儀ない仕末に至つてゐるこの一例をもつてしても明らかなやうに日本よりの資金の需要は支那事變を契機としてこゝにおいて、内地資金を目標として樹立された産業計畫は必然好むと好まざるとに不拘、再訂正の壁にぶつゝかつてゐる、かくの如く悲觀論を立てる方面がある、だがこれに對して樂觀的所説をなすものがある、これによれば今まで日本における經濟政策の方針は自由企業主義にして統一した計畫性を見出し得なかつた、しかるにさきの臨時議會をモーメントとして從來の方針は一變し計畫經濟化の大道をたどることゝなり、こゝに資金調整その他必要なる法律の制定をみるに至つた、不急産業はチェックされ時局産業は生産力擴充の花形として推進する、産業資金は一貫性をもつて調整され、愈よ後者に惠まるゝことは厚く、前者にほどこすことは薄くなる、かくて資金の計畫的投下が確立さるゝこととなつたが、これは日滿の不可分性からみた場合極めて歡迎すべきことである

即ち滿洲における産業計畫は既に日本よりも一歩先んじて戰時的體勢をとつて進められたものであり、この計畫遂行の如何は滿洲國にとつて重大であると共に日本自身にとつて又同樣重大なものである、この意味において計畫それ自身が既に飛躍化した現在の時局と相照すべく豫定されてゐたものである

故に日本における資金の調整は必然的に滿洲國の時局産業をして日本のそれと同一視すべきで、かくてこそ日本、滿洲の生くべき當然の道が開かるゝこととなる、故に滿洲側にとつては日本の資金調整は決して悲觀すべき事態ではない、既にこの見解を立證すべき事象は相當見受けられてゐるとの見解がなされてゐる、かくの如く日本の轉換をめぐつて二つの見解が行はれてゐる、しかして當面の問題としてみた場合はどうだらうか、日本の轉換はそれが急激だつただけに日本自身を處置するのに今のところ急なやうである、金融の硬塞が傳へられ、又公債消化の停頓が傳へられてゐる、このとき滿洲側において常時における如き資金の需要を望まんとしたらそれは木によつて魚を求むるやうなものだ、こゝに滿洲側において出來るだけの資金現地調辨が當然のものとしてなされねばならぬことゝなる、そのための消費統制も亦各自首肯せねばならぬ

すでに政府は官吏の義務儲金を增率した、更に一部賞與の公債支給をも考慮してゐる、非常時貿易立法が考究され、資金の一元的統制が要請され更に爲替管理法の制定によつて滿洲國を通じて第三國への資金逃避の憂慮を除去せんとされてゐるのも當然である、かくて當面の困難を處置することが緊急事である

大局的にみた場合はどうか、かゝる關係に立つた以上滿洲の時局産業に對する資金は内地の時局産業同樣遇せらるべきで、又遇せらるゝことゝなるべく一應内地の調整をみた曉には憂ふべき事象も自ら解消することゝなるであらう、更に日本における公債の增發はこの見解を有利に導くものとみらる、かくて國民は日本國民と共に新しい體勢の確立を期すべきである

日本の轉換はいよ〳〵日滿の不可分性を强化した、兩國は相共に生くべき必然性をいよ〳〵經濟の面において强化し日本は滿洲を考慮せずしてその經濟政策を決定し得ない事態に立至つてゐる、この意味において滿洲の日本への依存性は解消し、それ〴〵兩國とも所要の目的をもつことゝなり、兩國の關係はいよ〳〵相去り得ない立場を明確にするに至つた

大連、日淸兩社船 商船に委託す

大連航路に就航と決定

海運自治聯盟では船腹需給關係調整の第一着手として過般來種々斡旋の結果、左の如く今次事變により打擊を受けた大連、日淸兩汽船會社船舶を臨時に大阪商船委託船として配船することに決定、關係各船會社間にそれ〴〵契約を了した

一、大連汽船の大連靑島上海航路は支那事變により就航不能に陷り停船の止むなきに至つたので自治聯盟では同社の客船奉天丸（三、九七五トン）大連丸（三、七四八トン）靑島丸（四、〇一七トン）の三船を大阪商船の委託配船とし大阪商船の大連定期航路に繰入れるなほ大連靑島上海航路復舊の場合は同航路に還元せしむる筈である

二、日淸汽船はさきに所有船七隻を揚子江封鎖のため支那側に擊沈されたが殘り七隻は何れも停船の狀態にあるので取敢へずそのうち貨物船唐山丸（二、九七〇トン）を大阪商船に委託配船せしめ大連航路に就航せしめる

關稅改正に

東京商議要望

東京商工會議所では先般貿易部關稅調査常設委員會聯合協議會を開催、目下滿洲國政府に於いて立案中の滿洲國關稅改正につき協議の結果、左の如く要望することに意見の一致を見、直ちに日本商工會議所を通じ滿洲國政府當局宛提出した

（イ）複關稅制度又は三段關稅制度とするを可とす、即ち現在の如く各國品一律の輸入稅率とせず滿洲國と相手國との關係の如何又は協定の有無等により各國品の稅率に差別を設け、日本品はその最低率に均霑せしむること

（ロ）從價稅のものは往々輸入申告價格と當然查定價格とに相違あり、爲に稅關と荷主との間に紛議を釀すことあり、仍つて從價稅は成るべく從量稅に變更する事

（ハ）課稅查定價格を統一すること、現在滿洲國に於ける各輸入港關稅價格は大連市内の小賣價格を標準として查定し一定せざるため輸出業者の蒙る被害大なり、仍つてこれは輸出港に於けるF・O・B價格を以て標準とするを可とす

對支輸出業者に 金融の便圖る

滯荷總額は三千六百萬圓

大藏省では支那事變の影響による輸出商品の滯荷につき輸出關係業者に金融上の便宜を計ることとなり、日本興業銀行及び商工組合中央金庫をしてさし當り左の措置を取らしむることとなつた

一、當業者が取引銀行より融資を受けたるものについて興銀はその取引銀行に對し倉庫證券擔保附手形再割引の方法をもつて必要なる資金を供給すること

一、輸出組合、工業組合等又はこれ等組合の組合員については、商工組合中央金庫より直接に又は各組合を經由し、倉庫證券擔保又は出保管をもつて金融上の便宜を受けることゝすること

なほ當局調査による打擊を受けた品目は左の如く、そのうち對支輸出杜絶により積止、積戻しの難に遭つた滯貨總額は三千六百萬圓見當を推算されてゐる

一、輸出品の積止、積戻し額（單位百萬圓）纖維工業品（二八）、食料品（二）、機械、器具、車輛（二）、化學工業品（一）其他雜品（三）計（三六）

一、對支輸出杜絶による滯貨品目 毛織物、人絹、綿絲布、水産物、精糖、紡織機械、自轉車部分品、陶磁器

一、同輸入停滯品目 漆、ラミー、麻

一、支那よりの輸入杜絶原料品 アンチモン、ブラッシ、ボタン、漆製品、苧麻

一、對支輸出杜絶の内地製品 精糖、水産物、人絹、人絹織物、雜貨

一、對支輸出品にして新市場に轉換さるべきもの（イ）雜貨—滿洲、南阿、中南米 （ロ）捺染、綿絲布—滿洲 （ハ）その他の綿絲布—滿洲、南洋、近東、阿弗利加

經濟團体聯盟 政府に建議

【東京國通】經濟團體聯盟は二十八日丸の内東京商工會議所で第一回會合を開催先づ聯盟規約を審議可決し、理事に木村增太郎（日商理事）高島誠一（經聯理事）膳桂之助（全産聯常務理事）中村忠彥（東京手形交換所主事）の四氏を選任、副會長二名ならびに常任委員若干名は鄉會長の指名に一任した、團體聯盟今後の進むべき方針について協議の結果、左の如く決定した

一、時局に關し緊要なる財政經濟政策の大綱的なるものにつき考究をなし、政府に建議するとゝもに内外に闡明を發すること

二、各經濟團體ならびにそれ以外の經濟關係者より提出せる問題につき審議を行ひ政府と協力して調整をはかりそれ等の連絡協調の審議を行ひ、問題につきてその有效適切なる實行をはかること

三、政府の諸問に應じ適當なる處置を行ふこと

ついで鄉會長より提案の時局對策に關する意見について檢討を加へ戰時經濟遂行に對する官民協力の必要を强調すると共に財界にも政府の政策建議案を決定、直ちに建議する支持につき呼びかける筈であるが、政府の戰時經濟政策全分野に對する全財界最初の意見發表として注目される。

帝國燃料興業 事業内容決定

【東京國通】帝國燃料興業設立委員會の第二回總會は二十七日午後三時開催、特別委員會で決定した定款設立趣意書事業目論見書、收支計算書及び株式募集要綱を附議いづれも原案通り可決散會したが、事業内容は左の如く決定した

當社は政府の諸施設と相俟ち人造石油製造事業を營むことを目的とするものなるとゝろわが國における液體燃料需給の實狀に鑑み液體燃料中特に重要なる揮發油および重油の生産に重點を置き平戰兩時における需給の趨勢を勘考し内外地および滿洲國を通じ差し當り七年計畫をもつて昭和十八年における年額揮發油および重油各々約百萬キロリットルの生産を目標とし石炭水素轉化事業、石炭低溫乾溜事業等を經營する人造石油の製造會社に對して投資するとゝもにこれ等事業の必要な原料石炭の供給を確保するため炭鑛開發資金に對しても投資するほか本會社自ら人造石油の製造又は販賣その他本會社の目的達成に必要なる諸事業を營むものとす

財界を統合する 戰時産業院案

—吉野商相の意圖—

我財界有力者を以て組織する日本經濟聯盟會では時局に鑑み時局對策委員會を設立することになつたが、之は今後頻繁となるべき政府と財界との交涉折衝に當り、財界を綜合する最高常設機關として財界を代表して意思表示を爲すもので、政府は各種産業の自治的統制の母體として活躍を期待してゐる、吉野商相は更に政府の經濟政策遂行に當り工業動員の圓滑を計るため、民間經濟團體を統括し、農林、商工及び勞働の六長官より成る國防會議を設置すると共に、財界各界及び勞働界の有力者より成る七名の顧問委員會を創設してこれに附屬せしめた、更に米國が參戰に決して軍需品調達が開始されるや、國防會議顧問委員會はこれが圓滑を計るために購買委員會を設置したが、これは後に兵器本部と改稱され、更に兵器規格委員會と合併されて一九一七年七月八日にはアメリカの戰時産業統制機關の中軸たる戰時産業院が生れたのである、殊に一九一八年三月四日戰時産業院が國防會議から獨立して大統領直屬の一機關となるや金融資本家たるバールチ總裁の下に生産優先順位の決定、價格の決定等に關して執行權を取得し、設備

×　×

て、アメリカの戰時奉仕委員會、樣な統一的な新機關の設立を提言してゐる

×　×

即ちアメリカがドイツに對して宣戰を布告したのは一九一七年四月六日であるが、これより先一九一六年七月三日には工業動員のための國防法成立し、この法律に基づき政府は政府部内に陸海軍、内務、原料、燃料、運輸、勞働、資本の六部門に分課して戰時經濟のために重要なる活動に乘出したのである。而して戰時産業院は軍需品調達のために各部門に分つて資材委員會を設けたが、この資材委員會のために資源に關する情報を蒐集し以て戰時需給の圓滑を計る爲に立つたのが全米商工會議所の提携によつて成立した戰時奉仕委員會であつた、同會設立の趣旨としては左の如き諸點が擧げられてゐる

一、政府の需要に對して工業の生産力を迅速に調査對照する

一、政府の需要品に對して迅速に生産原價の調査をなす

一、軍需品生産に必要なる原料の配給及び保存の方法を有效に講究する

一、政府の將來の要求に合致するためには如何なる施設を必要とするかについて豫め準備手段を講ずる

一、規格統一を講究し、原料、勞働及び資本の節約手段を講ずる

×　×

なほアメリカにおいても當初は英國の戰時奉仕委員會は各産業別に組織され、各産業別に戰時産業院の各資材委員會に照應して軍事需要と資材手當の細目調整を計つたものであるに對し、吉野商相の見解ではこれを全國的な單一の組織にしたい意向であると傳へられてゐる

商況欄 元日前場

海外經濟電報

倫敦金塊	一磅〇六志六片二分一
倫敦銀塊	一九片八分七
同先限	一九片四分三
紐育銀塊	五〇仙八分五
スチール株	八二弗四分三
アナコンダ株	三九弗二分一

▲市俄古小麥

九月限	一弗〇八仙四分一
十二月限	一弗〇八仙四分一
五月限	一弗〇四仙八分三

▲紐育棉花

現物	八仙六六
十月限	八仙五一
十二月限	八仙三三
一月限	八仙三五
三月限	八仙三八
五月限	八仙四八
七月限	八仙五七

▲印棉

ブローチ	一七五留二五
オームラ	一五五留
ベンゴール	一二四留

▲カルカッタ麻袋

背負	一三留比六分一
鐵筋	二二留比四分三

▲外國爲替

英米爲替	四弗九四仙六二一
米日爲替	二八仙八七
英日爲替	一志二片〇〇〇
英支爲替	一志二片四分三
印日爲替	七七留比二分一
米支爲替	二九弗八七仙

各地株式市況

▲東京株式（短期） 寄付／大引

	寄付	大引
新東	一四三、五〇	一四三、〇〇
日産	六八、二〇	六八、四〇
鐘紡	三三二、五〇	三三一、一〇
滿鐵	五四、六〇	—
大新	八〇、三〇	八〇、五〇

▲大阪株式（短期） 寄付／大引

	寄付	大引
新東	八一、〇〇	八〇、五〇
鐘紡	一四三、四〇	一四三、九〇
日産	三三三、五〇	三三一、一〇
日本新	六八、六〇	六八、五〇
大新	六〇、〇〇	六九、九〇

▲大連株式（短期） 寄付／大引

（品新、豆新、日新、満産、同濃、鐘新、土木、日新 ほか）[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸 寄付／大引

▲大阪棉花

▲大阪人絹

▲大阪期米

▲橫濱生糸

[illegible]

各地特産市況

▲新京（一石値段） 大豆、大豆粕、米高粱、小豆、玉蜀黍 ほか

▲大連 大豆、豆粕 ほか

[illegible]

白い天使（一〇六）

林房雄作　吉田眞里畫

（上演　上映禁）

毒汁（三）

『うそです！——兄さんは、くやしまぎれに、ぼくの心に毒汁をさしこまうとしてゐるのだ。

弘子は、そんな女ではない。兄さんの陰險な策略のまへにも自分をまもりとほすことのできた女だ。

現に史子姉さんも、それを證明してくれてゐます……』

『あつはつは、口さきだけの證明なら、だれだつてできるさ。』

史子は、史子らしい嫉妬心からぼくと弘子との間に關係がなかつたやうに、しひて空想して、それで滿足してゐるのさ。

……しかし、お前が、ぼくのお古でもかまはないといふのだつたらなにもいふことはないさ。

藤木の娘との結婚談も、これでうちきつてもかまはない。

どうせ、お前には、ぼくを助けようといふ氣持は、爪のさきほどもないらしいのだからな。

……やあ、もう時間だ』

と、時計をみて

『あはなければならぬ人があるから、失敬するよ』

『…………』

ものもいへないほど昂奮して、秀夫は、石のやうに、つつたつてゐた。

その靑ざめた顏を、尻眼にかけながら、田中は、ドアの方へいつた。

『とにかく、そんな事情だ。お前がぼくに好意をしめしてくれないかぎり、ぼくも遺産問題では好意をしめさないつもりだ。

なんといつても、現在のぼくに金のないことは事實なんだから渡さうにもわたせないさ。

法律の力でも、なんでもかりてみるがいゝね。

僕には僕の計算があるつもりだ。

弘子との結婚は、これは大贊成だね。

大いにやれよ、弟が兄のお古を大滿足でちようだいするなんて、まづ喜劇の中でも傑作だらうからね！』

×　×　×

『秀夫さん、どうしたんでせうね？』

『澁谷の家にでもとまつたんでせう。田中との話がながびいて、歸れなかつたのにちがひないわ』

『さうなら安心だけれど、からだが充分に、なほりきつてゐないし、途中で、もしものことでもあつたら……』

『大丈夫よ。

——だけど、弘子さんに、そんなに心配してもらつて秀夫さんは幸福だわね』

史子夫人にさういはれると弘子は思はずあかくなつた。

心の底のうれしさはかくせなかつた。

『でも、どうしたのでせうね話がうまくいかないのでせうか』

けふも、光りのふりさうない、お天氣である。

大島の姿も波の上にあざやかだ。

秀夫は、昨夜たうとうかへつてこなかつた。

朝になつたら、と心待ちにまつたのだが、電話さへかゝつてこずに午後になつてしまつた。

——かすかな不安が弘子の胸に影をおとした。

『さあね』

と、史子はヴェランダにだした籐椅子の上で、首をかたむけながら

『やはり、お金の話といふことになるさ、すら〳〵とは運ばないでせうね、なにしろ、あの人、今、會社からおひだされさうになつてゐるので、秀夫さんの要求をいれるとは一寸できないのぢやないかと思ふの』

社説

國民精神總動員に就て

一

現下時局に際して、國民精神の總動員が必要とされ、政府が積極的にこの運動をはじめたのは、最も時宜に適した處置である。先般、政府首腦部の諸氏が述べたところは、筆を執る者も、鋤鍬を執る者も、國家的職域の一單位であつて、單にその持場に最善を盡すのみならず、若しその一人が缺ければそれだけ國家の全活動力が減ずる、若しその一人が十分の働きをすれば國家の持つ力はそれだけ増す、斯くの如き自覺をもつて全國民が國家總動員の內に織り込まれて來るならば、我々に課せられた時代的使命を遂行し、發展的日本のために一新紀元を作ることは決して困難でないといふ趣旨のものであつた

二

九月九日の內閣告諭に「凡そ難局を打開し、國運の隆昌を圖るの道は、我が尊嚴なる國體に基き、盡忠報國の精神を益々振起して、之を國民日常の業務生活の間に實踐するに在り、今般國民精神の總動員を實施する所以も亦玆に存す」とあつたのを見ても、今次の運動が單なる敎化宣傳ではなく、國民が日常生活の間にこれを實行して目的達成に參加することを主眼としてゐるのが明らかである。ところで、擧國一致の必要なことはわかつてゐるが、それをどのやうに實行化し、實際に現はすか。この具體策を明らかにし、國民に實行を可能ならしめることが肝要である筈である。同時に、國民が要望されて居るやうに日常の業務に精進し、安んじて盡忠報國の誠を傾け得るやうな環境をつくることが肝要である。徒らに人心を刺戟しその必要無き所に恐怖の念を抱かせる如き事があつてはならぬ。擧國緊張の要は滿洲國に於いても同樣であるが、此の國の現住民族の開化狀態に適應した最も周到な施策が望まれるのである

三

今宵々として實行に移されつゝある經濟政策等にしても實際は寧ろ極めて穩健なものであるのだが、その具體化以前には甚だしく極端な說が放送されたやうな實例もある。無益に經濟界を刺戟し恐怖せしめた如き、これを繰り返すべきでない。財政政策にしても二十億を越える軍事費が悉く公債に財源を求められてゐる。そして公債消化には斷じて心配無いといふのであるが國民は果してこれに安心してゐるのであるか。事態はすでに長期交戰も敢へて辭せぬと言はれる程になつてゐるのである。國民精神の總動員を最も效果的に實現するためには先づ指導者側に於いてその精神の動員を强固にし、以つて國民に向ふべき所を指示することが必要であると感ずる。

壽府帝國事務局 コンミユニケを發表

【ジュネーヴ廿八日發國通】ジュネーヴの國際會議帝國事務局は廿八日聯盟總會の直後コンミユニケを發表し日本の南京、廣東爆撃は決して無防備都市に對して行はれたものにあらず、軍事施設に對し正々堂々と行はれたものなる旨を詳細に說明、各國代表團ならびに新聞記者に配布普及に努めた

米國聯盟に深入りせず 獨自政策堅持せん

【ワシントン廿八日發國通】聯盟の日本空爆非難決議が採擇されたのを機に國務長官は廿八日新聞記者團に對し、米國政府の態度はこれまで聲明した通りで何等變更をなさゞる旨を闡明したのみで、聯盟の決議に對しては何等意見を述べなかつたことは米國が聯盟に深入りせずあくまで獨自の政策を堅持せんとするものとして注目される、猶ほ國際會議を提唱したとのジュネーヴ電報については國務省當局は全然かゝる事實はないと否定してゐる

天羽公使米公使と懇談

【ジュネーヴ廿八日發國通】スイス公使天羽英二氏は二十八日午後米國公使ハリソン氏を訪問、最近における日本の立場および米國政府の態度等に關し約二時間にわたり懇談を遂げた、席上ハリソン公使は廿七日ロンドン發ユナイテッド・プレス電報が報ずる太平洋會議開催說ならびにこれに對する米國政府の參加受諾說などは全々感知せぬ旨言明したと確聞する

日本の立場を全米に放送す 若杉紐育總領事が

【ニューヨーク廿八日發國通】ニューヨーク帝國總領事若杉要氏は二十八日午後六時四十五分から十五分にわたりコロンビア放送局より全米に向つて支那に正義の軍を進める帝國の立場を堂々闡明、左の如き熱辯をふるつた

わが日本はこゝ十五年間にわたつて執拗なる支那排日に抗しつゝ平和的協力に努めてきた、吾人はその適例として玆に三點を擧げよう

一、日本はドイツより讓り受けた權益をワシントン會議において支那へ返還した

二、日本は滿洲において若干の重要既得權益を拋棄した

三、日本は一九二五年の北平會議において支那の要求を支持し、治外法權廢棄の意思を表明した、しかるに支那は日本の友好的態度を無視してボイコット、邦人虐殺、抗日教育等により背信行爲を續けて來た、蘆溝橋上海兩事件は實に支那側の挑戰によつて惹起されたもので、現下の情勢を適確に諒解するためには以上の如き背景を閑却してはならぬ日本は支那に領土的野心は毛頭なくたゞ經濟的協力を希望するのみである、さらに東亞赤化の魔手に對し斷乎闘はんと欲するのみである、また日本は無辜の支那民衆と闘はんとするのではなく單に軍事施設及抗日軍隊を粉砕膺懲せんとするのみである、しかしながら吾人は硝煙濛々たる戰場廢墟の中から日支兩國間の恒久的平和友好的協力の生れ出づることを確信しかつ切望するものである

支那の紙幣 發行廿億元 準備著しく劣惡化

【上海廿九日發國通】紙幣準備管理委員會發表によれば、九月廿六日現在政府紙幣發行高は十五億四千四百四十五萬七千元と先月末に比し三千二百七十四萬二千元の增發を來し [illegible] 濫に支那通貨の基礎は著しく不健全化してゐる

アルメニア 人民議長罷免

【モスクワ廿八日發國通】モスクワ新聞紙の報道によればソ聯アルメニア共和國新中央執行委員會は、廿八日ステパナバッド共營農場員十二名を殺害せるアルメニア・テロリストと通謀せる廉で人民委員會議長グーロイアン、農業人民委員グメデイン、共產黨書記アマチユン、共產黨次席書記アコポフ等を罷免したといはれてゐる

滿洲化學 硫安增產着手

【東京國通】滿洲化學ではかねて硫安六萬キロ增產計畫を進めてゐたが、いよいよこれを完成したので十月中に運轉準備をなし十一月より運轉を開始の筈である、なほ右近常務の後任には堀義雄氏が就任した

時局國民歌 當選者決定

民生部、弘報處共同で募集した時局國民歌は審査の結果左の如く當選者決定したので作曲を日文は新京市民音樂團に、滿文を大連の村岡樂童氏に、露文を哈爾濱音樂團に夫々依囑して、十月中旬に新京において發表音樂會を開催することゝなつた、日文のみは一等當選作を決定し得なかつたので佳作四者が選定された當選者氏名左の如くである

△日文（佳作）新京驛庶務 坂元肇

同 新京錦町二ノ一〇錦寮內 赤司茂人

同 新京大同大街清和胡同 [illegible]公館內 藤木民子

同 [illegible]市北區中村繁三方 高橋清子

△滿文（一等當選）哈爾濱南崗西市場二道街門牌三八號 王承恩

△露文（一等當選）哈爾濱馬家溝中和街三六號聖ウラヂミル專門學校東洋科 イ・エヌ、バーシンコフ

△鮮文（佳作）通化省通化縣東邊道特別工作本部 崔守福

同 通化省通化縣德盛久內 許鎭範

重要特產物檢查法施行規則

滿洲國重要特產物檢查法は九月十七日發表を見たがその施行規則、檢查料等については左の如く決定發表された

第一條 重要特產物檢查法第二條の重要特產の種類左の如し

一 大豆
二 大豆粕
三 大豆油

第二條 檢查は產業部大臣の指定する檢查地の檢查場に於て之を行ふ但し產業部大臣の許可を受けたる者は檢查場以外の場所に於て檢查を受くることを得

產業部大臣前項の指定を爲したるときは之を佈告す

第三條 重要特產物にして左の各號の一に該當する場合は檢查を受くることを要せず

一 檢查場なき地より輸出若は移出し又は鐵道若は船舶に依り國內に向け搬出（以下搬出と稱す）するとき

二 青豆、黑豆、茶豆、黑粕、茶粕、耳附粕、板粕、撒粕及粉粕を輸出若は移出し又は搬出するとき

三 青粕、青皮豆粕、特選丸粕、乾燥丸粕、光餅及小粕にして之に對する檢查機關の證明あるものを輸出若は移出し又は搬出するとき

四 產業部大臣の許可を受けたる銘柄の精製大豆油を輸出若は移出し又は搬出するとき

五 試驗、調查若は種子の用に供し又は博覽會、共進會、品評會等に出品するものにして之に對する官公署の證明あるものを輸出若は移出し又は搬出するとき

六 軍の所有物にして其の證明あるものを輸出若は移出し又は搬出するとき

七 鐵道の小口扱又は客車便に依り輸出若は移出し又は搬出するとき

八 大豆に在りては一噸未滿、大豆粕に在りては五十枚未滿、大豆油に在りては百瓩未滿のものを鐵道以外の輸送機關に依り輸出又は移出するとき

九 大豆に在りては六十瓩又は七百袋未滿、大豆粕に在りては千百枚未滿、大豆油に在りては三瓩未滿のものを船舶に依り搬出するとき

前項第八號又は第九號に該當する場合と雖も當該數量以上を分割して輸出若は移出し又は搬出するものと認めたるときは檢查を行ふことあるべし

第四條 前條第一項第一號の場合に於て到着地又は田家、圖們及開山屯を除く國內最後の通過地に檢查場あるときは其の檢查場に於て檢查を受くべし

第五條 產業部大臣重要特產物檢查法第一條第三項の指定を爲したるときは左に揭ぐる事項を佈告す

一 名稱及住所
二 檢查開始の年月日

第六條 檢查は左の種別に分ちて之を行ふ

大豆
一 黃大豆（改良大豆及白眉大豆を含む）
二 間島大豆（間島省內生產の黃大豆にして間島省內に於て檢查を受くるもの）

大豆粕
一 大豆普通丸粕

大豆油

第七條 檢查は大豆に在りては包裝、重量又は容量、品質、調製及乾燥、大豆粕に在りては重量及品質大豆油に在りては品質に付之を行ふ

第八條 檢查申請者は別に定むる所に依り檢查手數料を納付すべし

第九條 檢查の結果は之を合格及不合格に分つ

合格又は不合格及合格品等級は別に定むる檢查標準に依り之を決定す

檢查の決定に對しては異議を申立つることを得ず

第十條 檢查規程の定むる所に依り檢查の結果は檢查品又は其の包裝は合格又は不合格を證する印文、記號又は證票を附して之を表示す

第十一條 檢查品又は其の包裝には商標其の他の標記を附することを得ず但し產業部大臣の許可を受けたるものは此の限りに在らず

第十二條 檢查機關必要ありと認むるときは何時にても再檢查を行ふことを得

第十三條 檢查機關は正當の事由なくして檢查を拒むことを得ず

第十四條 檢查は別段の規定あるものを除くの外檢查規程の定むる所に依り之を行ふ

檢查規程には左に揭ぐる事項を記載すべし

一 檢查を行ふ重要特產物の種類及種別
二 檢查の場所に關する事項
三 檢查施行の時間及休日に關する事項
四 檢查休止に關する事項
五 檢查申請の手續きに關する事項
六 檢查施行の順位に關する事項
七 檢查標準に關する事項
八 檢查方法に關する事項
九 供試料品の採取に關する事項
十 檢查に關し使用する印文、記號又は證票に關する事項
十一 再檢查に關する事項
十二 檢查手數料に關する事項
十三 檢查の效力及其の認定に關する事項
十四 檢查證明に關する事項
十五 前各號の外檢查に關し必要なる事項

第十五條 檢查機關重要特產物檢查法第四條第二項の認可を受けんとするときは認可申請書に選任に在りては檢查員の履歷書を、解任に在りては其の事由を記載したる書面を添附し之を產業部大臣に提出すべし

第十六條 檢查員の服務に關する規程には左の事項を記載すべし

一 職制に關する事項
二 資格及任免に關する事項
三 給與に關する事項
四 服務規律に關する事項
五 懲戒に關する事項

第十七條 檢查機關は毎月檢查成績報告書を作成し遲滯なく之を產業部大臣に提出すべし

第十八條 檢查機關は檢查に關する會計を他の事業に關する會計と區分し經理すべし

第十九條 檢查機關は毎事業年度開始の三月前迄に檢查に關する收支豫算の認可申請書を產業部大臣に提出すべし

第二十條 檢查機關は毎事業年度終了後二月以內に檢查に關する收支決算書及檢查事業報告書を產業部大臣に提出すべし

第二十一條 第二條第一項但書、第三條第一項第四號及第十一條但書の許可を受けんとする者は申請書を檢查機關を經て產業部大臣に提出すべし

第十一條但書の申請書には圖形、徵、肉桐及肉色を記載したる雛形圖を添附すべし

附　則

本則は重要特產物檢查法施行の日より之を施行す

第十九條の認可申請書は康德五年度收支豫算に付ては本則施行後遲滯なく之を提出すべし

海上遮斷線を往く

軍艦〇〇にて……猪伏特派員發…（下）

汕頭には余漢謀の片腕李揚敬の率ゐる第百五十五師が駐屯し約三萬の兵力をこゝに集中廣東から戰鬪機まで持ち込み廿キロにわたる海岸線一帶に塹壕を構築し重機銃、野砲の各陣地を完成して盛に長期對日抗戰をアジつてゐる、海關前は鐵條網陣地で警官まで腰に手榴彈をブラ下げてゐる、事變直前元十九路軍營長だつた公安局長が音頭をとつて「日本品を買ふな」「日本人を追出せ」「日本人に家を貸すな」「日本人にものを賣るな」の運動を公然やつてゐたところだ、廣東についで最も始末に惡い東洋平和を阻害する毒蟲の巢窟である、我が引揚げ居留民七一〇人（內地人二五〇、本島人四六〇）而も特筆すべきは汕頭の入口南奧島は海賊の有力な根據地の一つであることだ、廣東は抗日戰のリーダー余漢謀の本據、推して知るべきであらう

艦は全支沿線一千五百浬の內最も重大視すべき南支那海沿岸福州から廣東方面の海域を愼重に哨戒監視しながら不變の「針路南」だ、熱帶圏內間近かに迫り洋上の酷熱は陸地の想像を許さぬ、渡のうねりもまた大きくなつて來たやうだ、小さな支那沿岸漁船が二三隻網を入れてゐる、無辜の漁民の平和な漁業は妨げぬ、一顧だも與へず目に痛い程ギラギラ光る航跡をひきつゝ艦は目的の線を進んでゐるけふもまた支那商船は片影をも見せない、たゞ遠淺の沿岸傳ひに二三の小ジャンクが航行するのを見たゞけ

「月月火水木金金」といつた土曜日曜拔きの猛訓練で鍛えたわが「海のつはもの」の腕は鳴つてゐるが如何んせん敵船影なく、格好な敵砲臺の仕かけて來るのがないのだ、殘念ながらこれでまた夜に入るのだ、仕方がないので士官室で〇月〇日の〇〇灣の戰鬪を根掘り葉ほりして〇〇艦內に秘められた「話」をきく武裝ジャンク狩の名人〇〇中尉が日本刀を持つて來ていふのだ

支那海賊は拳銃なんかには驚かない、銃口を突きつけてもケロリとしてゐてその無神經なのにはこつちが驚く位だ、然し一旦この日本刀を拔いて大上段に構へると、彼等は戰慄合掌して叩頭、その眼は脅怖につりあがる程怖しいものらしい日本刀の神秘的な力は使つて見なければ判らないのです

固くて開き難い「秘話」の華がこゝにほぐれて咲きそめた記者は「海のつはもの」の夜語りを靜かに傾聽してゐる、舷側に大きく波が押し寄せて艦はローリングだ

ガンルームの夜語りはつゞく〇〇中尉が慓悍な太い眉毛を動かして語るのだ

〇〇艦の戰鬪の時だ、自分は親船の商船から洋中に突き放された大型戎克に向つたが船中は僅かに二人の支那船夫しかゐない、失望だこの戎克は舊型ながら大砲を兩舷に各一門、機銃一挺と彈丸多數をもつてゐたので名物の海賊船と認め置き去られた二船夫を訊問した言葉が通じないのでこの手帳で筆談を試みたと示された手帳の一頁をめくると鉛筆で次のやうに書かれてある

中尉 幾人逃亡乎
船員 十五人所在
中尉 所有何品乎
（船夫積荷の鹽をつかんで〇〇中尉に示す）
中尉 我不憎爾、憎中國軍閥耳
船員 做官發財（船夫は手振身振りで支那軍閥官僚の飽くなき苛斂誅求ぶりを說き〇〇中尉の言に同感の意を示し、收賄する支那官憲を憎む表情を示す）

「それでこの大型ジャンクは抑留することにして二人をジャンクの小船にのせて出發港の香港に歸らせてやらうと思ひ、船の胴間をのぞくとそこには船夫共が使用の支那の板草履が澤山あり而も其板草履の表には「抗日救國」の四字が全部彫りつけてあるのを發見した南京政府が無智な下級船員にまで「抗日救國」を敎へその手段としてはどんなことでもやるのだ、平常使用の板草履にモットーを彫りつけるなどは考へたものだと寧ろ感心した位だ船夫にその板草履をつきつけて詰問すると、彼等はもしそれを履かなければ處罰されると答へた、實際蔣介石も小刀細工をやる、大型ジャンクは抑留の上〇〇したが、二人の船夫は小船に若干の食糧品を積み込まして歸らしめた

艦は〇〇日わが〇〇海上部隊の根據地に投錨した、そこには抑留された武裝ジャンクの中には頗る大きいのもあつたランチで近づいてみると驚くべし、この戎克は大砲四門、七・七ミリの最新式機關銃二挺を裝備してゐる、〇〇海上部隊司令部で押收した彈藥砲銃彈、小銃等を見せて貰つたが海賊とは言ひながら大したものだと感心された、戎克の親方から、わが〇〇司令官〇〇提督に對し達筆名文の懇求書が呈せられてゐるのを讀んだが、ナントうまいことを言つて罪を脱れんとするものでの懇求書の宛名は「總指揮大帥臺譽」とあり

――民船〇〇〇號は年々貴地臺灣に常住して正業を營んでゐるものです、この度圖らずも鹽魚を積んで航行し罪を得ました、大人わが知らずして犯せる罪をお赦し下さい小民は即ちこれ海邊の鄕人、何事もよく理解出來ず、たゞ商使となつて南奔北逃するもので實を申せば小民是れ貧民、またおのが糊口のためにこれをなすだけであります伏しておん願ひします、大人よ德を賜ひ仁を行つて下さいませ、小民にしてお許を賜らば即ち天の神明必ず大人の上にありませう大人の德は即ち小民が感銘の恩只管御許を乞ひ奉る

由來支那の船夫は無智文盲のでさへ人並には扱はれぬものであるがこの懇求書に見る武裝ジャンクの船頭の敎養の程度は遙かに支那一般水準を拔いてゐる

最近南支那海に顯著なる事例は海賊船內に必ず一人や二人の敎養ある赤き青年がジャンクの副長格で乘込んでゐることだ、彼等は赤い思想を「抗日救國」の旗に包んで人民戰線派の勢力扶植に躍起となつてゐる、無智の船夫階級に迄今や東洋の平和を攪亂する「赤い思想」が根强く植えつけられつゝあるのを聞いて赤露魔手が如何に支那民衆の底深く爪を立てゝゐるかを知つて思はず戰慄を覺える

艦は重大なる使命を新に擔つて出動、さらにさらに南進を開始した、北極星は低くさがり待望した南十字星が水平線上に頭を出し始めた、さあこれからが本當の「南方だ」、內地で見えない星が續々見られるぞと傍の士官に敎へられた、上甲板は涼しい、しかし艦內の暑さは物凄い、蒸し釜で炒られるやうな堪らぬ感じ（おつと暑いなどとは言へないか）である、船は南十字星光る海上遮斷線を南へ南へ進む（完）

林檎大豊作

【京城支局】半島果實の王座を占めてゐる林檎は早くも市り物が各市場に姿を現はし人氣を集めてゐるが本年產林檎は開花結實期から極めて順調の天候に惠まれ病虫又は風水害の被害もなく搗てゝ加へて近年稀有の大豊作であり前年の總收穫高千五百萬貫に對して二割五分乃至三割程度は增加發育せる爲め品質亦極めて優秀で本秋の取引は空前好結果をもたらすべく期待されてゐる

陸軍士官校 座間村に移轉

【東京國通】明治七年に開校してから六十四年間わが陸軍の搖籃として二萬八千の卒業生を出し、幾多の名將勇將を輩出した牛込區市ヶ谷の高臺に傳統と歷史を誇つてゐた陸軍士官學校は、八月二日新條例により陸軍士官學校と陸軍豫科士官學校とに分たれ士官學校は神奈川縣高座郡座間村に移轉すべく着々準備中であつたが、いよいよ新校舍の設備も完了したので九月三十日を期して歷史的移轉を行ふことゝなつた、新士官學校は總坪數四十餘萬坪、校內には川あり、谷あり、平原あり、近代陸軍の各種演習訓練にあらゆる好條件に惠れ近代的裝備をあますところなく備へてゐる

商況欄（二十九日後場）

株式相場

●大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	一五、三〇	―
豆新	一八、九〇	―
東產新	一三、六〇	―
日鐵新	六、八〇	―
滿新	四、四〇	―
同新	―	―
鐘新	三二、一〇	―
土木新	―	―
日新	三三、四〇	―

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
滿取新	―	―
東新	一三、四〇	―
大新	八〇、二〇	―
日產新	六六、二〇	六九、三〇
鐘新	三三、五〇	―
五品新	一五、一〇	―
豆新	―	―
滿鐵新	―	―
同甲新	―	―
電毛	―	―
日魯	―	―
滿業	―	―
電業	―	―
化學	六〇、〇〇	―

新京取引市況（廿九日後場）

現物	寄引	出來高
高粱	―	―
米高粱	―	―
小豆	―	―
玉蜀黍	―	―

先物	寄引	出來高
●大豆 九月限	六、八〇 六、〇〇	一五一車
十月限	―	―
十一月限	―	―
●高粱 九月限	―	―
十月限	―	―
十一月限	―	―

手形交換高（二十九日）

三六六枚 四六九、九二三、八〇

鮮魚小賣相場（九月二十九日）

品名	最高	最低
活鯛	一、〇五	四五
氷鯛	…	…
中小鯛	七二	三四
カスゴ	…	…
コロ鯛	…	…
チヌ鯛	四五	三〇
連子鯛	…	…
アマ鯛	三三	二七
イセエビ	一、〇五	六〇
車エビ	…	…
白サエビ	五五	三四
小エビ	…	…
中小エビ	…	…
ヨコワ	二八	二七
メジロ	五八	三四
ヤズ	四〇	一〇
サワラ	三五	三〇
ニベ	二一	二一
イトヨリ	二七	二四
赤ムツ	…	…
ギザミ	二七	一三
アコウ	…	…
メバル	二七	…
アブラメ	二八	一五
スズキ	二〇	一〇
タコ	二七	一五
紋甲イカ	七五	七〇
ヤリイカ	一七	一五
水イカ	四〇	一五
飯蛸	…	…
シラメ	二七	二〇
ヒライ	一六	一五
カレイ	二四	…
星カレイ	…	…
日高カレイ	…	…
小シラ	…	…
グチ	一六	…
小市	二〇	…
ホーボー	二七	…
カナガシラ	一七	一六
コノシロ	…	…
タチ	一七	一〇
太刀魚	一六	一三
キス	四五	二七
サヨリ	二三	一五
アナゴ	…	…
ハモ	…	…
ハゼ	…	…
アユ	…	…
白魚	一、一〇	八〇
ウナギ	…	…
ドジョウ	八五	二七
アワビ	…	…
ノサキ	…	…
鮭サバ	三〇	…
オサバ	…	…
黒生子	…	…
貝柱	一〇〇	一六
蜆貝	二〇〇	一三
赤貝	五五	四五
カキ	…	…
ムキミ	…	八
ハマグリ	一〇	…
カニ	…	…
梅サケ	一〇	一〇
梅月	一八	…
鹽マス	…	…
モツク	…	…
生マカ	…	…
カマボコ	九、	一七
スト	…	…
鯛（切り身相場）	一、五〇	六〇
メジロ	四五	四〇
ブリ	一、一〇	六五
ヒラス	…	…
鰹	…	…
ハガツヲ	六〇	五五
マス	…	…
サケ	…	…
サワラ	六〇	五〇
スズキ	四五	四〇
ニベ	四〇	三五
水蛸	…	…
ヒラメ	三五	二八
フカ	…	…
鮭ザケ	…	…
赤エイ	…	…
鯨（赤身）	…	…

原始的な風物詩
甘珠爾廟祭と定期市
（一）ハイラルにて　杉原生

庫倫街道

呼倫貝爾の草原は行けども果てぬ海原である、海拉爾—甘珠爾間一八〇キロを結ぶ坦々たる草原の一筋路を自動車は五、六〇キロスピードで走りつゞけた、この燥原の往還は古來外蒙へ通ずる要路をなし、また呼倫貝爾の特産物たる天然曹達や天然鹽が駱駝隊商の鈴の音につれて運ばれたものだと言はれる、初秋の感觸は肌に冷いが實に快適なドライヴウエーだ、視野に入るものは一羽、二羽草原に悠々と舞ふ鳶、鷹の類と、放牧の馬、羊の小群のみである、海洋のうねりのやうな草原の波頭が遠く地平を掠めてゐる、「蒙古人は海を見ても驚かない」と言ふが、一望際涯なき草原は全くの陸の海だ

この地方の草原は多量の曹達分を含有してゐて、そのため雜草も五六寸位にしか伸びないのである、殆んどが沙漠に近い燥原で、放牧の蒙古人は四季の水草を逐つて部落から部落へ移動して行くのだ

海拉爾出發後六時間餘、やがて草原の行手に甘珠爾廟の尖端が現はれ、それがだんだんに盛り上り近づいて來た、茸が生えたやうな包の部落しかない曠野の眞中に忽然と出現する甘珠爾廟の金色の大伽藍は、まさに偉觀である

旅人ならでも如何にそれが彼等蒙古人にとつて魅惑と歡喜と尊崇の的となつてゐるかは想像に難くない

蓋し清朝が蒙古統治の基本的テーゼとした喇嘛政策の功罪を如何に物語るものであらう

廟に近づくにつれて赤、黃原色のけばけばしい衣裳を纏ひ騎馬や蒙古軍に運ばれる人々の往來が繁くなり、彼等はいづれも一里餘彼方にある雜閙へと捲き込まれて行く

呼倫貝爾の草木もけふは甘珠爾の定期市へと靡くのだ

定期市の由來

廟の西北約六キロの曠野の中に密集する包の雜閙は、遠く見ると夏雲の如くたぎり立つてゐる、それは蒙古ならでは見られない原始的な風物詩だ

定期市の由來は諸文獻にも明かでないが、恐らく開祖は漢人商人で、彼等は年一回の廟祭に近隣から參集する喇嘛僧や蒙古人をあてこみ、日用雜貨の交易を始めたのであつた、これが定期市の濫觴をなしたものだと見られてゐる、

しかし一說には清朝の對蒙政策として皇女を蒙古王に降嫁せしめたのだが、邊境の地に慰めるものもなく、そこで仲秋の頃北平より商人の來蒙を命じ、廟の周圍に市を開かしめたのが慣例となつたものだとも傳へられてゐる、爾來定期市は逐年盛大に赴き、遠く外蒙庫倫、多倫、張家口方面からも蒙古人が雲集しその數は例年二萬人を突破すると云ふ殷賑振りを呈したのであつた

彼等は牛馬羊群を追ひ或は毛皮等の畜產品を携行してこれを漢商の日用雜貨品と物を交換したのである、この市は初め廟の周圍に開かれたのであつたが、聖域を汚穢すること甚だしく今から五十餘年前廟の西北約一里の現在の位置に移されたのである

かうして東支鐵道の敷設以前定期市は物資集散の一大市場と化し、漢商についで露商、英商等もこの地に進出し彼等は無智純朴なる蒙古人を相手に原始的取引を行ひ全く利潤を壟斷したのであつた、蒙古人等は一ケ年の生活必需品をこの市で買込む習慣で、當時日用品の取引高は數百萬圓に達したといはれる

しかるに一九〇三年東支鐵道の竣工は滿蒙の文化に一新紀元は劃したのであつた

即ち沿線各地には商工都市が出現し、呼倫貝爾地方では、滿洲里、海拉爾を中心とする蒙古貿易が勃興して來た、蒙古人たちは隨時之等の都市に赴いて物資を交易すれば足りるやうになり、年一回の定期市を目指して、數百里の山河を雜行する必要は無くなつたのである、かくて甘珠爾廟定期市は漸くその存在價値を半減し來り、更に建國後ソ聯外蒙との自由交通の遮斷は一段とこれに拍車をかけたのであつた、一方國內治安の確保に伴つて交通の便は開かれ、トラックは曠野に輻輳するといふ有様で、今や商圏は海拉爾甘珠爾附近一帶に縮小され、歷史的定期市は往時の面影なく漸次活氣を失ひつゝある

今また白溫線（ハロンアルシヤンを終點とする）の全通は蒙地開拓の動脈として文化の觸手を伸ばし、定期市にとつては一つの悲觀材料とされるが、しかしながら百五十年の傳統を誇り、甘珠爾廟祭と結びついた定期市がさうたやすく解消するものとは思料されず、また喇嘛の因習は民族の血の中に喰ひ入つて拂拭し難きものあり、定期市の將來對策は對蒙政策の重要性に鑑みるもなほ考慮の餘地あるものであらう

曠野の熱鬧

今年度の定期市は九月五日より開催され引續き十日より二十日まで盛大なる廟祭が施行された

定期市は曠野の中の中を南北へ通ずる道路を中心に伸び、さらに東面に交叉する道路をはさんで、包や天幕の各種の店舖が立並び、周圍十數町に亘る雜然とした三角形の市街を現出してゐるのだ

これが開市の前日忽然と現れ、數日後にはまた跡形もなく消え失せて、もとの曠野に歸するのだから奇觀である

雜沓する市の中央には數十軒の雜貨店や飲食店が賑かに軒を並べてゐる、これが先づメインストリートといふところだ、その橫丁には見世物小屋がかゝり、賭博場が開帳して周圍には黑山の如く頭に赤、黃の布を卷き、鞭を持つた蒙古人の男女が物珍らしさうに蝟集してゐる、裏街を覗くと阿片館があり、居酒屋があり、妓館まで出店を張つてゐて薄暗い包の中にはあくどく粉飾した娼婦たちが嬌聲をあげて客を招いてゐる

市の西側は家畜市場が立ち東端には蒙古人の夥しい木製車輪や馬具の市が開かれてゐる

かうして雜閙する群衆と、その人垣を巧みに縫つて駈け散らす騎馬の群で市の全體が蒙古特有の黃塵に蔽はれてゐる

定期市の圓周四、五キロの地點に點々として包の部落が散在してゐるのが見える遠く牛、馬、羊の群を追ひ蒙古車に家族を運んで來た蒙古人たちが各々そこに駐屯部落を造つてゐるのだ、夜が明けると彼等は裸馬に鞭打つて市に馳けつけて來る、なかには夫婦或は親子相乘りで勇しくやつて來るのもある

彼等の馬を驅すること恰も下駄の如しといはれる

例年定期市に出張する滿洲側各機關は興安北省警備軍、海拉爾警察廳、興安北省地方科その他協和會および地元新巴爾左翼旗等であるが、本年度は郵局の臨時出張所まで出來て便宜を與へてゐた

本年度定期市の人口は省公署調査によれば八千二百九十二名で、その內譯は

△蒙古人	男	三、五二五
	女	二、七六七
	喇嘛僧	八三八
	合計	七、一二九
△滿洲人		九八七
△白露人		八七
△日本人		八九
總計		八、二九二

右は略々正確なる數字を現したものであるが日本人は海拉爾から一泊乃至その日歸りに見學する者などあつて實際は百五十名を超えてゐるものと見られる（寫眞は上、蒙古民族信仰の的甘珠爾廟全景と家畜市場の盛況）

河北に平和甦る
二週間前の戰場に早くも兆す
樂土建設の躍動

【天津廿八日發國通】約二週間前馬廠陣地を拔けさらに南進する皇軍に從軍した記者は滄州の堅陣陷落とゝもに一先づ天津に引揚げることゝなり二十八日滄州よりの軍用列車に便乘を許されて津浦線にて歸途についた、漸く秋冷を加へた河北の野は廣々と豐かに稔つてゐる、僅か二週間前まで津浦線を戰線に向つた當時と窓外の風物にほ少しの變化もないがそこから釀し出される空氣は行きと歸りとでは別天地の感を持たされた、それはたゞ血腥き戰線に向ふ時と全く平靜に歸して天津へ歸る相違の比ではなかつた、二週間前まで沿線部落は既に收穫期に入りながら耕作地に殆ど人影なく驛々には日本兵の警戒ものものしいものがあつたが、今日では沿線の部落から炊煙立ちのぼり野にも畑にも農民が營々と收穫を急いでゐる、棉花畑には女子供まで交つて棉摘みに餘念がない、軍用列車に向つて手を高々と振つてゐる子供まであるではないか、幾多敵味方の血を流した激戰の地獨流鎭の工場の煙突は黑々と力強い更生の煙を吐いてゐる、驛々も警戒に任じてゐる日本兵によつて綺麗に掃き淸められ附近の部落からは果物籠をかついだ物賣の百姓の姿さへ見えて多年軍閥苛斂誅求に苦しめ拔かれ怨嗟の聲に包まれた嘗つての河北の姿は最早何處にも見當らず皇軍の向ふところ忽ち平和と明朗に包まれ住民等は收穫の秋を樂しみ樂土、河北建設の躍動が隨所に漲つてゐる

廿二萬圓餘で
吉林師範學校新築

全滿最初の新教育令による師範教育のトツプを切ると稱される吉林師範學校の新築校舍は、二十二萬三千四百圓をもつて齋藤組に落札、近日着工の上本年度は基礎工事を完了明年八月までに竣工の豫定であるが、同校舍は現高等師範西山高臺に十二萬坪の用地をもつて校舍敷地二萬坪、十萬坪は農園及び實習地に充て、校舍は平家屋煉瓦造二棟二、九二八平方米、講室四三二平方米、寄宿舍は平家建八棟二三九二平方米で學級數十學級日本式の外形にとらはれぬ堅牢を主として農業實習を兼ね將來農業學校をも併置するもので、收容人員五百名、新教育令による中等三年修了者を二ケ年間教育することゝなつてゐる

大連市立實業
甲種商業
併置陳情

甲種商業併置方陳情のため二十八日朝來京の大連市立實業學校保護者會代表德永眞鑑、長野政來、中村綮の三氏は午前中植田全權大使に陳情書を提出するとゝもに關東局に武部總長を訪問陳情を行つたが陳情の要旨は同校は中堅層實務員の養成について十數年の歷史を有し、この間幾多の人材を社會に送り出してゐるが、乙種商業では一定の水準に到達すること困難なる實情にあり、多くの希望に燃ゆる若き學徒の將來に想到するとき甲種併置が刻下の急務であるといふにあり、既に大連市當局でもこれを認めてゐるのでこれが解決は時期の問題とされてゐる

弘報協會懸賞當選二等次席

中國民衆に告ぐ
新京にて　權寧九
（三）

試みに諸君は政府に幾何の租税を納めてゐるか、政府は諸君の生活及び文化の維持發展のために何を爲したるか、諸君は眞に安居樂業を爲すことを得たか、諸君は歐米の諸民族と同樣に彼等と同等に移植民が出來たか、靜かに考へよ批判せよ、しかして眞に愛國の士になれ

南京政府は諸君に向つて言ふであらう、近時中國は國內よく結束し軍隊の調練、兵器等も良く整備したから日本軍に負けぬと大言壯語するであらう、しかしそれは認識不足も甚だしいものであるか、或は大衆を欺いて政府を信頼させやうとする一つの詐欺手段に過ぎない、戰爭の勝敗は必ずしも兵力の多寡によるものではなくして軍人の精神、規律的訓練か最も大切である、南京政府は軍隊內において請負制度を公然と認めるではないか？軍部の豫算は一部將士の私腹のために費され、平素は極めて小數を訓練し首腦部の巡視を恐れて事ある毎に急遽に勞働者群を買收して間に合はせると言つた無謀をつゞけてゐるではないか？一旦事あつて國のために名譽の戰死を遂げても衣類所持品は同胞に剝ぎ取られ骸骨は山野に曝され永遠に弔ふ者一人なく遺族は饑餓線上を彷徨するも更にこれを顧みる者はない、これではいくら國家の爲とは叫ぶとも愛國の眞の誠意が何處から發露されるべきか？日本軍を見よ、戰死したる軍人は國家國民から護國の神として永遠に尊敬せられ、その遺族の生活は國家が保障してゐる

君國の爲には水火をも辭せざる精鋭なる日本軍に對敵せんとする南京政府の誇大妄想言語に絶するものがある

萬一開戰にもなれば例の通り鎧袖一觸の目に遭ふことは火を覩るよりも明である現に日本軍は僅かに消極的應戰の手段しか講ぜぬ筈なる處にも拘らず、南京政府は既に悲鳴を擧げてゐるではないか？

南京政府は八月十四日長文の聲明を發表して「自衛權の下に一切の行動の自由」を宣言し蔣介石は「遂に戰は開始された、支那軍の勝利は壓倒的である、今後はいよいよ粉碎作戰に移らん」と豪語して前線將兵を煽動してゐた、この嘘を見よ、中國自ら招いて徒らに事件を擴大に導きながら自衛權を云謂するは、自衛權の濫用も甚だしい、日本軍の行動こそ既得權益ならびに居留民保護のためにやむを得ずして出でたるものにして「自衛權の下に行動の自由を宣言」すべきである、又蔣君が勝利が壓倒的と豪語せるは狂人沙汰としか聞き取れない、諸君は上海ならびに南京をはじめ各地全支を通じて日本軍の應戰に慄へて悲鳴を擧げてゐるではないか？

蔣君は自分のためには四億諸君の生命の危機將來の幸、不幸等は眼中にも置かない非道なる人物ではないか

南京政府軍は武器を持たざる非戰鬪員、居留民就中婦女子ならびに純眞なる幼兒の慘殺をもつて戰爭を取り違へてゐるかも知れぬが郎坊、廣安門、苑平、通州等の戰において支那軍の狼藉を見よ！戰敗の怨みを一般民衆に向けて不意攻擊をなし數百の居留民を慘殺したることは中國及び中國民の榮譽に非ずして國家として又文明人として、恥を千載に殘すものであり、その國家の隕落を世界に曝すの外何事でもない

一婦女子を慘殺すべく數百の軍隊が長時間を費して念入りに亂暴を加へ全身擔傷、目も當てられぬ實に鬼畜の如きその所爲の跡を觀るとき誰か中國軍を人間として取合ふであらうか？

諸君！諸君は如何に考へるか？これが所謂正義のために銃劍をもつて立つ軍人のなすべき正當なる行爲か、そのもつべき精神か？余は半島人や、日本人が殺されて悲しいといふ前に斯くの如き殘忍性を盡して平氣な南京政府を信じ、それによつて生活・文化を求めんとする四億同胞諸君の現在と明日を思つて斷腸の血涙と痛憤の嘆息を禁じ得ないものである、日本軍が若しかゝる精神を持つたと假定するとき諸君の運命を反省すれば容易に分り得ることゝ思ふ

さらに諸君、南京政府の無智横暴を見よ！今次の日支事變を何等かの口實の下に擴大遷延させんとするところにはその常套手段たる所謂以夷制夷の政策があると思ふ、その證據には今次の事變に際して新聞、ラヂオ等を通じて諸君を欺き抗日熱を煽りながら政府は裡に立つて泣いて英、米、佛等の諸國に干渉方を願んでゐるのでないか？

しかし南京政府の多年の詭辯的外交は完全に暴露されて今日に至つてはその言動宣傳は全く世界の信用を失墜して終つてゐる、現に南京政府が低頭泣きついても歐米諸國は同情どころか、現に政府の上海不法攻擊を非難し支那軍の不確實未熟なる爆擊に輿論激昂してゐるではないか！中國共產黨は背後のコミンテルンを過大視しその後援を囑いてゐるが、ソヴイエトは今國內混亂して兵力による積極的援助は不能であり權利も毛頭ない

家庭

野菜嫌ひの人は努めてお茶を召上れ
血液の酸性を中和し健康へ

ご存じでもありませうが、私どもが常食とする米飯はもちろん肉食物や糖分は凡て酸性の食物で、これらはともすると私たちの血液を酸性に變へてしまふものですが、反對に

お茶はアルカリ性の食品で其成分が血液の中に吸收されると酸性を中和して血液の平衡を保つことが出來、いはゆる病名をアチドーシス（血液が酸性を呈するときの病狀）と云ふ病氣にかゝることを防いでくれます。

動物實驗

これを動物實驗に就て見ても酸性の食餌をまぜたいはゆる普通の食物を與へて同時に體重一キロにつき抹茶なら〇・四瓦を、煎茶なら一・二瓦を番茶なら四瓦をお湯で煮出して食事ごとに與へてみると、いづれも完全に血液の平衡を保つてゐることが確かめられました。

人體試驗

また標準體格をもつ數人の健康者について同樣の人體試驗を行つた結果は、各食後の一回量を抹茶二瓦（茶杓に中盛りで一ぱい）煎茶七瓦（茶匙で中盛り二はい）番茶十五瓦（同じく約四はい）の割で與へた場合、とかく酸性に傾きがちな血液中和が何人にも完全に近く保たれることが初めて確められたのです。

食後の茶

以上に依つて普通私どもがアルカリ性食品として食べてゐる野菜だけで血液の平衡をはかる事は不可能でその補ひとして、お茶が重要な役割を果しつゝあることはお解りのことゝ思ひます。おそろしいアチドーシスを豫防し頭腦の働きを活潑にし消化を助け、皮膚の發疹、全身の倦怠等を防ぐ目的からしても食後に適量のお茶を飲むと云ふことは極めて大切なことであります。特に野菜きらひの方々は普通以上に召し上ることが必要なワケです。

電氣の五則

あすから愈よ「滿洲電氣週間」が始まるが、之に因んで滿洲電氣協會では「電氣の五則」を發表して家庭の注意を喚起してゐる。

1 良品を買へ

（イ）安いと思つて買つた電球だが、さて使つて見ると電氣の要り方が多い、早く切れる、能率の惡い電球を買つた損。

（ロ）宅はメートルだから構はないだらうと、夜店で非常に安い粗製の器具、電氣七輪を買つて、さて使つて見るとコードが焼けて危險を招く、七輪臺が焦げる、熱線が早く切れる、信用のないものを買つた損。

2 經濟な使ひ方

（イ）要らない電氣は小まめに止めて置くこと。
電氣が不經濟なばかりでなく、電球や電氣器具の壽命が短かくなります。

（ロ）電氣七輪で湯を沸したり、物を煮炊するときは、茶瓶や釜の底は平なものを使ふこと。
丸いものは隙間から熱が逃げます。

（ハ）茶瓶や銅釜の底は黒くして大きさは七輪の熱板の大きさにすること。
底のピカピカ光つたものは熱を反射するから熱が餘計に要ります。

（ニ）餘熱を利用すること。
又底の小さいものは周圍の熱が無駄に消費されます。
七輪の使用後には澤山の餘熱がありますから、少し早目に電氣を止めて此の餘熱を利用しますと金の費らない熱を使ふことになります
アイロンは殊に注意すべきことです。

（ホ）湯沸や飯炊には專用の電熱を使ふこと。
七輪を使ふ場合に比べて大體半分位の電氣量で足ります。

3 安全な使ひ方

（イ）電燈線から使つて安全な電氣器具は一キロワット以下です。
五〇〇ワット以上は專用の電氣受口を設けて下さい。

（ロ）安全器の中にあるフューズは災害の安全辨。
フューズは電氣設備を保護する大切なものですから、勝手に太いフューズや他の電線と差し替へると狂つた體溫計で體溫を計るやうなもので實に危險です。

（ハ）總て電氣器具は使つたら直ぐに電氣を止めること
殊にアイロンの様に熱線の見えないものや湯沸類では熱線を焼き切つたり器具を焼損することがあります。

（ニ）電氣炬燵や布團にはサーモスタットの附いたものを選ぶこと。
サーモスタットは溫度を常に適當に保つ裝置でありますから、蒲團を焼いたり、疊を焦したりすることはありません。

（ホ）電氣湯沸器、電氣茶瓶投込湯沸類は空焼をしない様に。
湯が無くなる前に水を差し加へて下さい。使ふ前に水の有無を調べて下さい。

（ヘ）スヰッチはしつかり入れ、挿込栓は充分固く確實に差し込むこと
又挿込栓を拔く時はコードを引張らないで挿込栓を摘んで拔くこと。
スヰッチをいゝかげんに入れたり、コードを引張つて挿込栓を拔いたりしますと故障を起す原因となりますこと。

（ト）コードを叮嚀に取扱ふこと。
コードを釘にかけたり、丸めたり、障子や唐紙の合せ目に挿み込んだりするとコードが傷んで早く切れますから叮嚀にお使ひ下さい。

（チ）コードや電線の上覆がすりむけたり、受口やスヰッチなどの不具合なときは直ぐに取換、修繕をなすこと。
素人細工の「間に合せ」は却つて危險です。

（リ）濡れ手濡れ布は禁物。
濡れ手で電線やコードに觸れない方がよろしい。
電球や其他の電氣器具を濡れ布で拭いた後は必ず乾かしてから使ふ事が大切です

（ヌ）電燈の上から、紙や布で包まぬこと。
電燈を點けた上から、布を掛けたり、紙で覆ふたりすると、中に熱が籠つて焦げ出します。裸の電球を、障子や唐紙蚊帳などに近づけて置くのも同様の結果になります。

4 屋外での注意

（イ）建物の手入れ、雨樋や庇の修繕等の場合は、電線を傷めない様に注意する事邪魔になる場合は豫め會社の手で位置を直して貰ふことが必要です。

（ロ）ラヂオの屋外アンテナ線は電燈線から離すこと。
アンテナ線の支柱を丈夫にし且つ電燈線から六尺以上離して下さい。

（ハ）電線に接近して紙鳶をあげないこと
紙鳶を電線にひつかけて感電することがあります。

（ニ）電柱に上らないこと。

5 愉快な設備

（イ）電燈の明るさは一疊當り一〇ワットにしませう。

（ロ）電氣扇やアイロン等を使ふために、壁や柱の下方に小型電氣承口【挿込口】を設けませう。

（ハ）電燈の點滅は、壁や柱に取付けた點滅器に依つて致しますと、暗がりで電燈を探す必要なく、電球の壽命も長く保てます。

（ニ）電球の笠はなるべく深型のものかグローブを用ひて、ギラギラした眩しさを防ぎませう。

（ホ）炊事用の電熱は家族一人當り五〇〇ワットを標準として設備すれば充分です

（ヘ）煖房用電熱は、坪當り五〇〇ワットを標準として設備しませう。

ラヂオ けふの番組

【M・T・C・Y】新京放送局 三十日（木曜日）

朝

六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
七、一五朝の音樂
七、四五建國體操
八、〇〇氣象通報（東京）
八、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座
日本人と蒙古人 興安局 齋藤辰雄
一〇、二〇料理獻立
一〇、三〇家庭メモ
一〇、四〇經濟市況（大連・新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）
〇、〇五晝間演藝
滿洲歌曲 SS放送樂團
指揮 佐竹正光
一、快樂道遙 二、愛惜青春 三、特別快車 四、悲曲 五、桃花江 六、良宵
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京・新京）
四、三〇經濟市況（大連・新京）
四、三五天氣概況
五、二〇ニュース・演藝（鮮語）

夜

六、〇〇子供の時間（東京）
物の出來るまで（六）土田武
六、二〇コドモの新聞（東京）關屋五十二
六、二五講演（東京）
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇講演（東京）
イタリーとドイツの印象 企畫廳調査課長 奧村喜和夫
八、〇〇義太夫（大阪）
新作事變插話 軍國民＝或る村落バス發着所＝ 川口松太郎原作
淨瑠璃 竹本相生太夫 豐竹呂太夫 外
三味線 鶴澤道八 外
八、三五歌謠曲（大阪）
伴奏 テイチク管絃樂團
（一）……由利あけみ
一、愛の赤十字 島田磬也作詞 古賀政男作曲 外一曲
（二）……藤山一郎
一、忠烈大和魂 島田磬也作詞 古賀政男作曲 外三曲
八、五五浪花節（東京）
日蓮上人龍ノ口御難 桃雲閣呑風
九、三〇時報・ニュース（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、一〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇滿語ニュース・講演・音樂
アナウンサー佐藤（朝）宮岡（晝）上森（夜）

新作義太夫（後八・〇〇 大阪より） 支那事變插話「軍國民」 竹本相生太夫

川口松太郎 原作
丁東 詞庵 脚色
鶴澤 道八 作曲

新作義太夫「軍國民」は雜誌講談倶樂部九月號所載の川口松太郎氏作の新作戯曲を新に脚色作曲したもので、その梗概は、ある山深い村落を走るバスの運轉手東吉は支那事變勃發以來、日増しに氣が荒くなり、女房おきちと口爭ひすることが多くなつた。それは豫備伍長である東吉が、毎日待ち焦れてゐる命令が一向に音沙汰なく日毎につのる敵愾心と落膽がもつれ合ふからであつた。けふも迫る發車時間をよそに、ビールを飲み出し尻を上げやうとせず、果ては「けふは休みだ」と云ひ出した羣句諫める女房と激しい肉彈戰を演じる。追々あつまる乘客は狂態にあきれ、バスを出させやうとするが暴れ廻つて手がつけられぬ。そこへ人垣かき分けて出たのは友達の淸二郎で、自分の召集令狀を持つてゐる。バスで驛までかけつけやうといふのであるこれこには流石の東吉も一時に醉ひをさまし、淸二郎の武運を羨みながらバスに乘せ、乘客一同に萬歳の唱和をすゝめ甲斐々々しく運轉して驛へ向ふといふのである。

（浪）（花）（節） 日蓮聖人 龍ノ口の御難 ▲…桃雲閣呑風

後八・五五（東京より）

「蒙古來たる」北より來たる」を背景に、鎌倉の辻に立つた一代の傑僧、日蓮聖人の、誰しも知る龍ノ口の御難の一節であるが、折伏主義を頑固に押し透し上は時の執權、北條時宗に「立正安國論」一篇を敢然と呈上し、下は迫害の石礫の雨中に、念佛、禪、眞言、律これ皆邪法と説法なし、一身焔の玉となつて民衆の中に破裂したゝめ、富木、四條等の有力な武士以外には、四面彼を誹謗する聲の海と化せしめ、その宗教改革の餘りにも激越の故に、遂に幕府より斬罪を宣告され、龍ノ口で哀れ波亂重疊の一生を終らんとするかに見えた、が、間一髮、俄かに荒天より數條の閃光、劍を翳した武士の目を射、斬らんとして遂に斬る能はざらしめた末は、改ためて幕命により、遠く佐渡に流罪と決定した一席。

恤兵献金 駐滿海軍部扱

△獻金の部
△百圓―海拉爾前田時計店從業員一同△七圓三十錢―間島省依蘭溝學校職員一同△五百七十五圓―新京滿洲興業銀行職員行員一同△五十五錢―撫順間地光重△九十六圓二十錢―同七田豐二△五十圓―四平街岡崎啓三郎△百圓―新京山口十助△五圓―江防艦隊司令部繩田秀夫△百二十七圓九十八錢―滿洲中央銀行全滿一一六支行職員一同

學藝

熱河雜詠（上）

林　一夫

葉柏壽站

裏山は緩き草山つらつらに見れば見ゆるも粟の穗の搖れ

ゆたかなる雲の流れに草山の標旗はたはためき止まざり

見ゆるまま我が見る小さき統眼の窓を過ぎれる放牛の群

草山の稜線ゆるく流れつつ雲觸るるがに沈みゆくかも

朝霧れし遠山峽の川床の高きに出づる水脈光りたり

橋脚の色しみらなり朝霧れの峽を出でたる一すぢの水脈

露含む草の香りを愛でたしと佇てば遙けし熱河國原

貨車の屋根ひたすら光るも寂しかり驚の驛の暮れの小雨に

ひそひそと裝甲列車の迷彩に陽炎短き夏は逝くかも

岩山の岩あらはれてみたぎらふ天つ日に照る眞晝なりけり

岩山にためらひたる雲の影かへす眼にやや動きたり

水涸れし山川床をひろびろと移ろふ雲の影はすずしき

蕎麥の花うつろに白く山畑の

ただ一ところなるもさびしや丘の上の祉小さく秋立つと遠つ峯より雲湧き出づるも

さらさらと粟の穗ゆする風にしてあかしあ大樹はやをら動けり

はろかなるならびの丘と山脈の重なるきはに小さし浮雲

日本人小學校に黑犬のさまよふ晝や風こゑに立つ

ひぢわれし深き地隙の蔭に咲く秋草花は手に戲するほど

滿院祥光

村長の閑けき庭に秋草の花の黃菊は咲きにけらずや

承德

承德の驛の廣場にまさぐれる夜空けざむき星冴えわたるも

とりよろふ峰か夜空か近々と銀河流れて眠れる古都あり

驛前に軍需品積むバラックの灯影微かに步哨立ちたり

貨車列ね葉柏壽站を過ぎゆきし軍事輸送の烈しさはここに

古の灤河の流れ夜深く軍用自動車轟き渡れり

滿洲に即したものを作れ

演劇親話會記錄（五）

劉恩格　先程から舊劇については張大臣、榮厚さんから云はれたので簡單に申上げます、新らしい急を要するものと、根本的なものとの兩方があります

急を要するのは先づ經營方面で改良を要するものは衞生的に改良すること、も一つは入場料のことです、營業する者は唯商賣意識でやつてゐるから粗略になります、も一つの力は文化的に關係がありますから脚本を變へてゆかねばなりません

舊劇は新劇と異つて難かしいのです、先づ作者をみつけ演出者を捜し出さねばなりません、で先づ舊劇の脚本は審査をして風俗に害あるものは上演しないやうにしたらいゝでせう、何にしろ營業者は儲けることばかり考へてゐますから、先程民生部の人が云はれたやうに脚本に補助金を出すことは新らしい方では出來るが古い方では不可能であらうと思ひます（なほ色々芝居の例を）

張燕卿　例へば忠孝に關するものには補助金を出しても出さなくても、古いものだから同じことで商賣人は金を貰つても儲かるやうにするから、古いものは出さなくてもよいんぢやないかと、かういふのです

島澤　芝居に對しても映畫と同じ樣に特殊會社を作つてあらゆるものを統制してやらしたらよいでせう、どんなものが賣れるか良い惡いを調査して輸入します、北京の本場ものとその以外に上海とか天津とか外江派とありますが、この外江派はいろんな着物をよくするとか設備をよくするとかするが唄は惡く下品なものでそれは害毒があるから輸入してはいけない、初めから輸入は本場ものとします

第三に注文があります、それは東清鐵道時代にハルビンで人材を集めて敎授としてやつてゐましたが、北鐵接收後鐵路局ではそのまゝとなつて材料も使はない、人材もバラバラになつてゐます、それで鐵道と相談してそれを皆滿洲國に寄附してもらひ、人材も共に集めて高級のいゝものを作りたい、それで學校も出來ます

張燕卿　私はそれを說明しませう、吉林にゐた時北鐵からみんな道具をとりよせて二日三日やつてもらつたことがあります、その中の一部を吉林によこしてもらつて吉林で敎授してもらつたことがありますが今ではハルビンや北京に行つてゐなくなりましたが、仲々いゝものが出來たのです、それでこの建設の爲に道具と人材とを集めることが一番早いんぢやないでせうか

次に北京よりよい芝居がこれらの役者でない人々を呼び集めることによつて出來ると思ひます、あらゆるものに優れたんぢやなくて或る一つ二つの芝居が上手な役者よりもうまく出來るといふ人がゐるのでそれが集まれば北京の役者よりもよく出來ることになります、將來政府の方でやることがあるなら島さんに話せばよいでせう、其後どうなつてゐるか

奧村　それは記錄に殘つてゐます、現在では新京の方の鐵路局で人材も共に引受けてゐます、クラブであつたことも記錄されてゐます、大連では遼東クラブといふのが五六年前からあつて現在は非常にうまくなつてゐます、記錄にあります、それから協和會館の協和クラブが非常に結構に發達してゐます

眞殿　遼東クラブは紳士ばかりでラヂオ放送を每晚一年ばかり續けてやつたことがあります

奧村　同好の士の集りだから發達が早いと思ひます

眞殿　私はこの前北鐵クラブを接收前に視察して感心したが露人向のホールの他に支那劇のための舞臺があります、吾々だと日本人のためばかりの設備をするが露人は支那劇のための舞台まで作つてゐると感心しました

張燕卿　それは唯遊ぶためばかりではないので、むしろ支那劇をすすめました、それはいろんな時に水害とか其他の義捐金を集めたり寄附をとつたりするのに便利なためで奉天にも、吉林にもさういふのがありました

長谷川　ラヂオにかゝはるものに演藝とラヂオ・ドラマとがあります、ラヂオ・ドラマは時間の制限を受け、或る時間の中に收めるものを作るので舞台中繼とは趣きを異にしてゐます、支那劇をもし放送に入れ樣とすると時間の割がいゝ處か十一時十二時頃になるので仲々に入れられない、現在は事變關係で時間かのびて時々やつてはゐますが平常は十一時までゞすから入れられません、而も古典劇とは異つたものでなくてはなりません、といふのは古典劇は朝十時頃から夜まで續けてやつてゐるのでいゝところばかり取入れることが出來ません、今ではいゝ處だけ入る樣に仕組んでもらつてはゐますが一時間位では思ふ樣にゆきません、新らしい方では日本でも西洋でも頭がすすむにつれて變つたものを大衆は喜ぶ傾向があるので日本の歌舞伎十八番でも一幕位しか出してゐません、音律にはかなはぬ俗化したものが大衆に向くのでそれに受けるやうにつくつてゐます、オペラとかレヴューとか、で古典は古典として殘さねばなりませんが新らしいもので大衆をリードしてゆかねばなりません、日本では明治廿七、八年までは勸善懲惡が芝居にのせられたが今では戀愛ものが喜ばれる、といふ樣に體系が變ります、所が現在の滿洲では何もないので五族協和の何物かをつくらなくちやならぬが、それには時間がかかります、現在待望してゐるものは目前の芝居で出來得ればすぐ出來るもの例へば國策を宣傳するものを含む芝居、又は情操もの假令邪道であつても大衆を喜ばせながら國家の方針を盛つてゆく根本的には方則に合つたものを置かなくちやなりますまいがラヂオ・ドラマでもそのつもりでやつてゐます、で先日は大同劇團の王屬官を一幕三十分に收縮めてしまつてやりました、とに角寸劇的なものでも滿洲に即したものをやつてゆきたい、其他に時間と金があれば中老に屬する人の觀覽に入るべき古典劇をつくるとかの標準が必要であります、とに角今は何もないから先づ與へるものを作らなくちやなりません、一幕々々異つても一番與しませる物をつくることにしたい、それから劇場の話がこの前にも出てゐますが國營にしろ株式會社にしろ現在それが新京にないので欲しいと思ひます

「履霜」

—石川淳の一作—

「普賢」で乘り出した石川淳の「履霜」（文藝春秋十月號）を讀む。

相變らずの饒舌で、隨分と大げさな表現が隨所に使はれてゐるのに驚くのであるが、これもこの作者にとつては一種の武器なのであらう。

描かれてゐるのは、或る古い家に住む義兄夫婦、そこに昔レストランの女給だつたといふ妻を連れて歸り要領のいゝ會社員生活をしてゐる男。その男の舊友、左翼運動をしてゐるのが現はれ金を要求する。爭論のあとで拒絕、今度はやはり知つてゐる妻君の方に面會を求め、彼女は會ひに行くのだがその時男は捕へられる、それが刺戟になつて、男は新しい生活、古い家、義兄たちから離れた生活をすることを決意する。だがその前に妻君の方がよりはつきりした決心をし、或る會社の女給仕になるのである。義兄たちと爭つてゐる所に衣類を取りに彼女が歸つて來る。決定的な別離。

これは確かに興深い一作ではあつた。それにしても作者の文體は決して不明でない。二つ三つはいゝが、あまりにこの行き方ばかりを續けては甚だうんざりさせられはせぬか、そんな感想が殘つた。（B・J）

新刊紹介

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△大新京經濟概觀（新京商工會議所）躍進國都の經濟概要を記述したもの、總說、貿易、商業、工業、金融、農業、牧畜業、林業の八章に分ち地圖、寫眞多數を添へ菊判二百五十二頁の大冊である、國都の過去、現狀を語る好資料（新京吉野町三丁目七新京商工會議所、二圓）

△長春（九月號）この川柳誌も第六號を重ねた、二、三を拔いて紹介に代へる

ひよつこりと訪れられる秋さなか　吉原井砂緒

保險屋は合法的に執念な　野村勝美

エトランゼーここにもあつた純喫茶　上倉泥柳

（新京八島通四六、川柳國都吟社、年一圓）

△懸賞界（十月號）張赫宙「投書時代回想」三輪健太郎「小說解剖」その他懸賞投書についての研究ニュース甚だ豐富（東京市小石川區林町四一、櫻華社二十五錢）

△國際パンフレット通信（九月十六日號）時局解說として「米國中立法が發動すればどうなるか」「フランコ將軍「余は何故に起つたか」」等を收めた四六判四十六頁、每月六回七冊發行（東京市麴町區有樂町二丁目四、タイムス出版社月二圓）

△農業と機械（九月中旬號）滿洲在來農具とその趨勢、滿洲農業と農機具問題座談會要旨、その他農具に關する記事多數（東京市本所區石原町一ノ二七、農業と機械社、二十錢）

△大陸研究（九月號）事變に關する諸記事、大陸產業の特報等を收む（東京市神田區旭町七、大陸研究社、四十錢）

△日本電報（九月號）日本電報通信社が發行するもので廣告に關して種々の豐富な記事を收めてゐる、關係者には充分參考となるものであらう（日本電報通信社）

△同盟旬報（九月上旬號）創刊第八號、愈よ內容整ひ來つたのが知られる（東京市京橋區銀座西七丁目一、同盟通信社、三十五錢）

△業務資料（九月號）久保昇「日本電話法上の諸問題」松山友勝「無線に依る印刷通信方式に關する考察」南務「スタヂオの建築」藤原利喜「新京第一放送に就て」等（新京大同大街六〇一、滿洲電信電話株式會社、三十錢）

△正金週報（九月十七日號）大久保頭取の株主總會報告を掲載（橫濱正金銀行調查課）

国都醫院案内

滿洲國通信社 本欄一手取扱

末永医院
内科 皮膚科 性病科
大經路八十三號 民政部より南一丁目
電2・三九五一番

田島医院
産科 婦人科
女醫 田島靜子
新京興安大路四一九
電2・二六〇七番

畑医院
内科 性病科 産婦人科
(入院隨時)
主 畑 基
新京新發屯豐樂路 モンテカルロ南隣
電②・一三二〇番

小児科
浅井醫院
入院隨意
新京崇智路六一六 (崇智路ト興亞街トノ交叉點)
電2・一六〇五番

鈴木病院
新築落成
産科 婦人科 病室完備
醫學博士 鈴木 紀
新京清和街七〇二 (白樺森南三丁)
電2・一八八七番

緑医院
ホームドクター
院長 住吉 榜也
長春大街護國般若寺筋向
電話②五一〇一番 ②五一〇二番

同仁医院
皮膚・泌尿科 外科・性病科
(入院隨時・日赤救療所)
醫學博士 市橋貞三
新京富士町二丁目
電3・二六〇六番

中市医院
産婦人科 花柳病科 内科
産室 病室 完備
滿鐵病院東門前
電3・三九〇二番
(日本赤十字社救療所)

吉野医院
小児科專門
レントゲン科新設
入院隨意
新京神社南角
電3・五二四三

外科性病
上山醫院
院長 醫學士 上山源六
入院隨時
朝日通二十一番地
電3・五七九五番

深町医院
皮膚泌尿器科・性病科 内科小兒科・外科 耳鼻咽喉科・齒科婦人科 レントゲン科・物療科
院長 醫學博士 深町穗積
入島通
電(3)六六六八 三四一二番 五一六三

豊楽堂医院
門 專 科 病 科 病 門 柳 花 肛
(花柳病科 肛門病科 專門)
豐樂路公設市場入口
電2・三二九七番

安達医院
内科・花柳病科 産婦人科
入院應需
日本橋通城内入口 特別市永康莊一〇五
電2・一二九〇番

長岡医院
皮膚病科 性病科 外科專門
光躍路二〇四 憲兵隊東隣
電話三・六九六八

康徳医院
産婦人科 婦人病科 花柳病科 内科
女醫 柴田すぎ
病室 産室 完備
入院 往診 隨意
吉野町四丁目廿一
電3・五三九七番

順天医院
内科 外科一般
入院室完備
院長 醫學博士 小橋茂德
日本橋通中谷時計店向入ル
電33・三八九〇(受付) 三六七七(病室)

肥後医院
産婦人科 花柳病科 小外科
内科 小兒科
女醫 松井艶子
院長 肥後弘子
ダイヤ街老松町朝日通
入院往診隨意
電3・五七〇九 三三二九番
醫院産婆 松元千代

小児科
長春醫院
院長 德丸スガ
入院隨意・往診應需
新京神社ノスグ前 ムニヨイ
電3・六二四一番

堂脇医院
小兒科 内科
新京吉野町一丁目 コヨイ
電3・五五一一番
(場所中央通西公園前 目下醫院新築中)

善堂医院
内科・小兒科・産科 婦人科・物療科
院長 河野五百里
(記念公會堂前)
電3・三一七一番

太田医院
小兒科專門
入院隨意
新京神社南横
電3・三八三九

山崎歯科
備設レントゲン
前園公西通央中
電3・五八〇三番

新都病院
院長 醫學博士 饒村佑一
産、婦人科 内、小兒科 皮、性病科 × 各科專門
本院 新京慈光路
電22・二二〇六 二一五十番

植医院
新築落成
小兒科・内科 花柳病科
病室完備
興安大路一一五
電22・一一五八〇 一九九八番

知識眼科
眼科專門
【入院隨意】
醫學士 知識吉彥
新京大和通り
電3・六六四六番

三谷医院
呼吸器科 胃腸病科 レントゲン科
新京崇智路一〇八
電2・四八六九番

松本医院
内科・外科 兒科 肛門 男女性病科
日本橋通り
電3・三七五六番

大森医院
一般外科 内臟外科 痔疾 性病
新京永樂町一丁目
電3・四七四三番

秋の陽光は眼を傷めます！

秋空晴れて愉しい季節です！ても紫外線の強い陽光がカッと貴女の眼を射てゐます。外出にも 散歩にも 書齋での讀書にも、眼を痛め易い時です。眼の保護にスマイルだけはお忘れなく

スマイルは秋口に多い結膜炎やトラホームを治療し豫防するばかりでなく、紫外線から眼を護り、讀書や執務から來る眼の疲勞充血を快よく回復します

爽かな秋の眼藥

スマイル

全國藥店にあり ―定價・廿五錢・四十五錢―

總代理店 株式會社 玉置商店 東京・大阪

營業種目

横濱正金銀行 新京支店
新京日本橋通三十四、電話代表(三)三六一一

本店 横濱
資本金 壹億圓(全額拂込濟)
積立金 壹億參千四百四拾萬圓

諸預金 小口預金十圓より、定期預金百圓より、其他内地預金の御取次ぎ、内地への組替へも迅速に御取扱致します
小口預金
貸付、割引 便利に御相談申上ます
内外荷爲替 内地向滿洲各地向も有利迅速に御取扱致します
送金 世界各地向送金を御便利に御取扱致します(海外支店出張所四十一個所、其他主要各地取引先有)
信用狀 當行旅行信用狀による御旅行は最も安全御便利です
商業調査 (海外御視察等に特に御便利です)御遠慮なく御利用願ひます

洋品と雜貨
赤木洋行
三笠町
電③六九三三 二二七三番

毛糸
紅屋
祝町三丁目太子堂前
電話三一六〇三番

松茸料理いろく
鰻かば燒、丼
うどん、そば
割烹 藪虎
日本橋通り
電話3―三四四五番

今般左記へ移轉いたしました
福だんご 德いなり (甘黨の店)
十五屋
ダイヤ街 (老松ビル)
電③ 六八二〇七 四二二三

「如何ですか」とお奨めするから
是非 マーキユリー

味の煙草
マーキユリー
二十本 十五錢
十本 八錢

JM-21

眼疾トラホーム專門藥
ラフタール
一號、二號、三號 各號て揃居ます
東亞號藥房
電(3)六五二二 三三六四 六六〇七 二五二六番
壹個にても郵送は迅速に致します

清酒
白鶴
嘉納合名會社醸造

けふ華北戰捷祝賀大會

全市を三隊に分ち 慶色彩る旗模様

全協和會員奮起參加して 讃ふ！日滿軍の凱歌

協和會首都本部主催・北支大戰勝祝賀大會は新京に於ける全協和會員參加のもとに愈よけふ三十日午後三時より大同公園に於いて開催される、大會終了後は三隊に分れ途中旗行列を行ひつゝ關東軍司令部駐滿海軍部司令部及び治安部を訪問するがその編成、順路は次の通りである

一、關東軍司令部訪問部隊＝總務廳、經濟部、恩賞局、立法院、參議府、内務局・民生部、司法部、大陸科學院、審計局、興安局、外務局、郵政總局、交通部、衛生技術廠、治安部、教育講習所、新京醫學校、大同學院、首都警察廳（順路、大同公園正門－大同大街－大同廣場－興安大路－建和街－北安大路－明倫路－新發路－關東軍司令部正門）

二、駐滿海軍部司令部訪問部隊＝滿鐵支社、滿洲炭鑛、大東公司、採金會社、電業會社、鑛業開發、電々會社、滿拓公社、大興公司、生命保險、大德公司、東新京鐵路、日滿商事、消費組合、航空會社、白菊區分會、居留民會、朝鮮人分會、朝日區分會、入船區分會、日本橋區分會、祝區分會、富士區分會、三笠區分會、西廣場區分會、吉野區分會、鐵北區分會、中央區分會、寬城子分會（順路、大同公園正門＝大同大街－大同廣場－西公園前－八島通－西廣場－駐滿海軍部司令部）

三、治安部訪問部隊＝國都建設局、產業部、市公署、長春縣公署、營繕需品局、中央銀行、地籍整理局、計器公司、宮内府、郵政管理局、交通會社、南關分會、長通路分會、大經路分會、四道街分會、中央本部（順路、大同公園事務所前門－國都建設局裏通－長春大街－大馬路－西四馬路－大經路－治安部）

目的地到着後は各分會長代表となり大會で決議された決議文を捧呈する、旗行列出發時間は三時三十分の豫定である なほ祝賀大會には日滿各學校學生生徒も參加する筈であり その後上記行列と別に日本側學生は附屬地を滿人側學生は城内を旗行列行進を行ふこととなつて居る、主催者側では當日市内各戶國旗を掲揚されんことを希望してゐる

附屬地小、中學生も呼應 祝賀行事擧行

協和會主催〃華北戰捷祝賀大會〃は卅日午後三時から新京大同公園で開催されるがこれに呼應して新京教育會では卅日午後三時から忠靈塔前大廣場に於て皇軍戰捷祝賀並感謝行事を擧行することになつた 此の日附屬地各學校約八千の職員生徒兒童は手に〳〵國旗を携へて午後二時五十分まで忠靈塔前に集合整列京中京商ブラスバンドの指導にて國歌奉唱についで〃國の鎭め〃吹奏裡に一同忠靈塔に對し最敬禮を捧げ司會者の式辭があつて大日本帝國萬歲を三唱して式を閉ぢ旗行列に移り八千の旗の波は北安路を東進して大同大街に出で關東軍司令部に到り關東軍々歌を合唱萬歲を唱へ中央通から八島通りを經て駐滿海軍部に到りブラスバンドの軍艦マーチ吹奏裡に各校萬歲を唱和して解散の豫定である

田中警務部長初巡視 關東局管下各警察署巡視中の田中關東局警務部長は廿九日午後一時より新京署の初巡視を行つたが署内の檢閲後裏庭に於て藤島署長以下全署員の檢閲を行つた（寫眞は檢閲の田中警務部長）

青年學校生徒 臨時召集

新京青年學校では今日協和會主催の下に開催される北支戰捷祝賀會の旗行列に參加する爲生徒が市中に散在し一々通知の期間が無いので各々誘ひ合せ午後二時半までにゲートル着用學校に集合されたいと

冀東政府の「同胞に告ぐる書」

さきに冀東防共自治政府では「全國父老同胞に告ぐる書」を發表、今次事變についてその眞義を解説する所あつたが右文書は同政府駐滿外交特派員公署より本社宛にも送附し來つた

醫療費半額 出動應召遺家族に

勇猛果敢な我皇軍の南北支に於ける猛攻は連戰連勝の輝やかしき成果を收め暴支膺懲の戰火は正に高潮に達すると共に、これにつれ國民銃後の護りは益々熾烈となつて赤誠報國の現れは熄むことなく幾多の美談佳話引きも切らぬの秋新京醫師會ではかねて『刀圭報國』の赤心を披瀝すべく計畫中であつたが、去る廿六日臨時總會を開催して今次事變に關し出動または應召の軍人及その遺家族に對し爾今醫療費を半額とし、尙薄資の前記の人達には無料を以て取扱ふことに滿場一致決議、廿九日諸般の手續きを終へて直ちにこれが實施することゝなつた 醫師會のこの『刀圭報國』の實施は全滿各都市醫師會に率先してなされるもので各都市の先鞭として頗る注目されてゐる、尙全滿滿鐵醫院に於ては既に此制度を以てさらに範圍を廣め軍屬遺家族に迄及ぼし過般來より實行中である

支那事變下に於ける契約者へ便宜

滿洲生命保險會社の措置

滿洲生命保險株式會社では同社設立の本旨に鑑み今回の支那事變に關し取り敢へず左の如くその措置を講ずることとした、なほ必要に應じ今後も便宜の處置を講ずることとなつてゐる

一、當社に於いては今回の支那事變のため軍人又は軍屬として出動したる保險契約者に對しては其の保險料拂込期日康德四年十二月三十一日までの分は普通保險約款による猶豫期間を更に六ヶ月伸長す
なほ今回の支那事變に關し公用のため事變地に赴きたる保險契約者にして特に申出ありたる時は前項に準じ取扱ふべし

二、當社に於いては戰時危險に對し特別保險料の徴收又は保險金削減等をなさず

三、當社に於ては從來被保險者が日本國又は滿洲國現役の軍人並に警察官なる時は醫師の診査をなさゞりしが今回の事變のため應召せられたる者に就いて醫師の診査をなさず契約す

指導工作に重點

新京煤煙防止委員會幹事會 本年度事業計畫決定

新京煤煙防止委員會では過日市公署に於て幹事會を開き昭和十二年度下半期事業計畫を審議したが昨二十九日午後四時半より日滿軍人會館に於いて關係委員幹事三十名出席のもとに本年度第一回の委員會を開催、鯉沼幹事長の開會の挨拶に次ぎ昨年度の事業報告をなし、會長には滿場一致をもつて徐特別市長を推薦新委員の決定（保留）及び左の如き康德四年度下半期事業計畫案を審議するところあつた、これを要するに本年度事業計畫案の骨子は宣傳工作よりは寧ろ指導方面に主力を注ぎ燃料の經濟的使用法を家庭方に徹底させ燃料國策の一助となすことに決定したものである（寫眞は第一回委員會と日滿商事燃料相談部實驗室）

△本期事業計畫の目標
煤煙防止の必要性は前年度來の本委員會の諸工作と旁々煙煤防止取締規則の公布を見たる等のため略一般に認識せられたるものと見て可なるを以て本期は宣傳工作よりは寧ろ指導方面に主力と注ぐを至當と認めらる偶々刻下非常時局を反映し國防資源としての燃料の重要性は一層大となれるに鑑み、一塊の石炭と雖も無駄にすべからざる旨を高調し併せて煤煙防止の見地より燃燒合理化工作に力點を置かんとす

一「冬の準備のため」を中心とする煤煙防止一般に關する座談會開催
一、石炭の大量使用を中心とする懇談會の開催
一、煤煙防止委員會内技術部の設置と日滿商事燃料相談部開設
一、煤煙防止讀本の發行
一、ラヂオ家庭講座開催
一、講習會開催
一、無煙デーの開催
一、煤煙防止四都市聯盟結成

新京教育會總會

新京教育會總會は十月九日敷島高等女學校講堂で開催されるが式順は
一、開會の辭（大浦校長）二、君が代（女學校）三、勅語捧讀（會長）四、奉答歌（女學校）五、式辭（會長）六、庶務會計報告（吉田庶務）七、議事決議文（青木校長）八、閉會の辭（大浦校長）
終つて敷島高女及西廣場小學校の二ケ所に分れて運動會を開き終了後西廣場小學校講堂で懇親會を開き全日程を終る豫定である

ネオン街女軍から山と積まれた慰問袋

五百七十九個、本社へ寄託

南に北に聖戰幾十日、風雨寒暑に曝され、困苦缺乏を物ともせず、一死報國の念にきほひたつ皇軍將兵に對する國民の感謝の赤誠は全國津々浦々に燃えさかり、獻金に慰問品にとなつて現はれ、銃後の護りの心強さを示してゐる、新京に於ても日毎のやうに美談佳話を織り込んで本社扱ひ分だけでも獻金一萬圓を超えてゐるが、二十九日には慰問袋の大寄託があつた

新京カフエー組合では曩に獻金を行つたが更らに皇軍に贈る慰問袋を募集中のところ大體纒つたので二十九日午後、友濤組合長（松竹）小吉幹事（銀波）大平幹事（美人座）の三氏は大橋組合事務所員と集つた慰問袋五百七十九個を五台の馬車に滿載本社を訪れ、關東軍へ獻納を依頼された

袋を透してうかゞはれる内容はその一つ〳〵が皇軍將兵をよろこばすこと疑ひなき艶めかしさが漂つてゐた、因にこの奇特な人々は組合五十三軒中四十九軒でその醵出はハト店主一、從業員六（以下先の數字店主、後の數字從業員）イナリ一、九、ロータリー一、女二、男一、初音二、七、春女一六、バツカス五、女七、男三、パラダイス三、八、ポプラ六女一五、紅ばら二、四、トリオ二、十一、ドン二女三オリムピック一、三、カルメン三、女九、男三、太閤女一二、男一、ナポリ一、四、南國二、女六、男二、ベニス三、二、ノラ三、八マルタマ二、八、マスコット七、滿洲一、一、マルセーユ一、一四、富士一、女十六、男三、238一、六ブランタン一、八、コトブキ二、五、天地〇、四、アリス一、女十、男一、ライオン一、女九、男二、亜細亜會館二、女十五、キング一、女四、男一、祇園會館〇三、銀波二、十七銀麗〇四銀座會館三、二二、銀パレス四、女男三十四、スペイン一、一、ゆりかご二、六、ミス東洋女十六、美勇起一、女二、男一、赤玉女三十九、男一、松竹三、女二四、シゲ坊五、四、新興一、男三、女七、處女林一女六、男一、火の島二、女八、美人座二、女六、男三モカ一、女三、男二、精養軒五、男五、女二十
合計五百七十九個本社では直ちに納入の手配をした（寫眞は慰問袋の山とカフエー組合役員）

滿洲國警備艦に驅逐艦「樫」を讓渡改裝

滿洲國海上警察は營口に本據を置き十數隻の警備艦と航空機を以て沿岸警備の重任に當つてゐるが更に日本海軍よりの好意に依り驅逐艦「樫」を無償で讓渡を受け豫て佐世保海軍工廠に於て改裝中のところ愈よ裝備を終つたので三十日午前九時より佐世保にて盛大なる讓渡式を擧行「海威」號と命名して海上警察隊にその威容を誇ることゝなつた この「海威」號は帝國驅逐艦「樫」號として大正五年十二月進水、同年三月竣工排水量七百五十五噸、時速三十一浬半、十二吋砲二門長さ三十米八、幅七米七の性能を有し、曾つて地中海に於て列強監視の中にドイツ潜水艦の通商妨害に對抗して華々しい活躍をなしたことがある なほ海威は警備船中最大なるので警務司からは若木營口海上警察隊長が正式讓渡を受けるべく佐世保に出張してゐる

衆議院慰問團 張總理午餐へ 關東軍を訪問した衆議院慰問團一行は國務院に張總理を訪問挨拶の後官邸において午餐を共にした（寫眞は午餐會に於て張總理の挨拶）

弘報協會新理事 宮脇氏選任

株式會社滿洲弘報協會では廿九日午前十時新京本社に總會を開き理事增員の件を附議し新理事に前國務院情報處々長宮脇襄二氏を選任した、なほ宮脇氏は東京に駐在することゝなつてゐる

14-12 白熱戰演じ 電々遂に保稅を倒す

本社主催運動具店三協後援の準硬野球大會も一組準決勝も終り二十九日午後四時半より西公園球場に於て二組の準決勝電々對保稅倶樂部戰が擧行された

勝頭電々の攻擊で四球に出た須藤江木の右中間二壘打で生還續いて江本三失で生還二點を先取すればその裏で保稅電々投手の不調交代などの間に四點を入れ二點リードす、二回に保稅又二點を加へ四點のリードとなり電々三回に一點を獲得試合は混戰に入る、四回電々の攻擊にこの回のトップ打者長島まづ三越安打に出で次いで村本左翼左二壘打に出たのをきつかけに猛攻擊を行ひ、四球、敵失を利し安打をあびせ保稅陣の崩れを機に大量十一點を入れ全半一時間半と云ふ稀有の大亂戰を演じたが後半保稅善戰よく暴れた電々をおさへ毎回一點一點と挽回ぢり〳〵差を縮めたが結局十四對十二で惜敗した

張り切つた兩軍は日沒迫り殆んど球を識別し得ぬまでに至つても頑として試合を止めず應援團またこの亂戰に熱狂し總立ちとなり歡聲夕闇をついても凄く昂奮の嵐を捲き起したが遂に保稅古賀の足の傷と杉田の不出場に恨みをのんで敗退した

スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
電々	2	0	1	11	0	0	0	0	0	14
保稅	4	2	0	1	1	1	1	2	0	12

電々　本藤笠本葉倉井谷島　村須衣江千下白中長　遊右投二捕一中左三捕二右
保稅　中見谷賀　場井田橋　田淺熊古西羽細會高　遊中左投捕三二一右

なほ實業A對電々の優勝戰は十月一日午後二時より西公園球場に於て盛大に擧行する

ジョツキーやーい！ジョツキーやあーいと關東軍新聞班の中島大尉が聲を嗄らして叫んでゐるのでなく愛犬が行方不明となつて探してゐるのだからお氣の毒な次第だ▲ジョツキーは生後八ケ月のセパードの牡で左の耳が割れてゐるのが特徵である「發見のお方は是非御通知を願ひます」と中島さんは聊か焦れッ氣味で會ふ人毎に依賴してゐるが▲浮氣はその日の出來心…で意外のところから出て來たら中島さんがアノ顏を眞ッ赤にするに違ひない、司令部雀が囀つてゐるチユー〳〵

けふの天氣　南西の風晴後曇
日の出　前六時三四分
日の入　後六時二三分
月の出　前一時四九分
月の入　後三時五五分
きのふの氣溫　最高一七度六　最低六度一

競賣期日公告

左記表示ノ不動產ハ和田悅郞所有ノトコロ抵當權者沖村忠雄ノ申立ニ因リ競賣ニ付ス。依テ登記簿ニ記入ヲ要セザル不動產上ノ權利ヲ有スル者ハ其ノ債權ヲ申出ヅベク又利害關係人ハ競賣期日ニ出頭スベシ競賣ヲ爲スベキ執達吏職務執行者 湯地勝美
競賣期日 場所當總領事館 日時昭和十二年十月十八日午前九時
競落期日 場所當總領事館 日時昭和十二年十月十九日午前九時
最低競賣價額金二千八百圓也
昭和十二年九月二十九日
在新京 日本帝國總領事館
目錄
新京特別市陸體胡同五百二十號地
宅地 三百五十二平方米所在
一、煉瓦造モルタル瓦葺平家建 一棟
此面積 八十五平方米六〇

義人長七郎（五十七）

（禁上演映畫化）中川雨之助　竹枝一郎畫

彦左の活躍（三）

だが下手に相手になると、此上どんなことを、言出すかも知れないので、誰もなんとも言ふ者はありません。

彦左衛門、いよ／＼圖に乘つて

「しばらく天下泰平が打つゞき、血腥い風の吹かぬところから、おの／＼方までが同じやうに、臆病風に誘はれたとみえる。幽靈の正體見たり枯尾花といふ譬の通りで、恐いと思へば、柳の影が、化物に見えることもある。たつた一人の長七郎君を、ヤレ陰謀だの、ヤレ謀叛だのといつて恐れるのは、ちやうどそれと同じ事で、あまりにも大人氣無いと申さねばならぬ。一、そんな疑心を抱く人で有るか無いか、活眼を開いて、先づ長七郎君の人物をよく見られるがよい。憚りながら、この彦左衛門、

「一命賭けて保證仕る。長七郎君に限り、恐れ多くも上に對し奉り不忠を働くやうな、そんな不所存者では決してござらぬ!」

と、怯めず、臆せず述べました。

彦左衛門が、あまりヅケ／＼言ふので、さすがに松平伊豆守も、默つて聽いて居るわけには行かなくなりました。

「彦左殿のお言葉までもなく、誰等とて、何を好んで長七郎君を、お疑ひ申しませうや。そこ許の仰しやる通り、長七郎殿に異心なしといふ、なんぞ確な證據でも拜見が出來るなら、珍重この上も無いことでござる」

すると彦左衛門、伊豆守をヂロリと見て、

「その證據をお目にかける位は、なんでもない、朝飯前のお茶濟でござる」

「彦左殿のことだから、よもや間違ひもあるまい、それなれば一同も大慶至極と申すもの……」

と言つたのは、[illegible]

敏守でした。いつもながら、人も無げなる彦左衛門の廣言を、多少心憎くも思つたのでせう。

「御念にはおよび申さぬ。武士に二言はござらぬ。これが間違つたらこの彦左衛門の白髪首、何時でも差上げる。憚りながら千軍萬馬の間に、肝ッ玉を練り上げた彦左衛門、鷹と坊主の嘘は、いうたことはござらん」

彦左衛門、滔々とやり出した。

どうだか、あんまり當になりませんが、悪くすると、また例の十八番。

「拙者幼名平助のみぎり、天正三年三河長篠の合戰、鳶の巣文珠山の一番槍、敵の大將和田兵部の首を討取り……」

でも始められては大變と、一同ハラ／＼して居ます。

「畏れ多きことながら、東照神君の築き給ひし徳川の天下は、當三代の君の御世となつて、その基は萬代不易、滅多に搖ぎもするものでない。それにも拘はらず御一同お歴々が、僅か一人の長七郎君を危ぶみ恐れ、柄の無きところへ柄をすげて、戰々兢々たるありさま、情ないやら、[illegible]やら、この彦左衛門、チヤンチヤラ可笑くつて、お臍が茶を沸かしますデ、わッはッ／＼／＼」

一同を尻目に睨いて彦左衛門、けふの御前評定を、たうとう無茶苦茶に、打ち壊してしまひました。

しかし無茶苦茶を言つたのではありません。その言ふ處、ちやんと道理に適つて、耿々たる一片の正義が、心の底に燃えて居ます。だから誰ひとり、頭の押へ手がありません。

偖て彦左衛門、その日お城から退出すると、すぐにその足で、築地のお屋敷に、長七郎殿を訪ねました。

そして、今日の御前評定のあらましを物語つたのです。